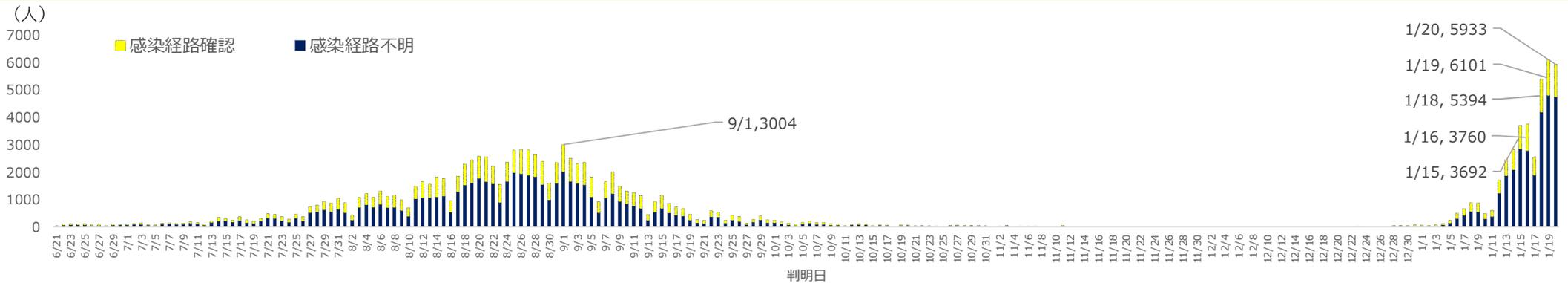


- | | | |
|---|----------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P2~11 |
| 2 | 年代・居住地・感染経路等 | P12~17 |
| 3 | 感染エピソード | P18~23 |
| 4 | 感染状況とワクチンの接種状況 | P24~25 |
| 5 | 沖縄県・諸外国の感染状況 | P26~35 |

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移（1月20日時点）

◆ 1月15日以降、連日過去最多となり、1月19日には6,101人の陽性者を確認。20日もほぼ同水準。第五波では、100人前後から過去最多の3,004人となるまでの期間は約2か月だったが、第六波では2週間弱で3,000人に到達。



6月21日～緊急事態措置解除・まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域(33市)時短要請(20時まで)
重点措置対象区域外(10町村)時短要請(21時まで)
※酒類提供は原則自粛
ただし、ゴールドステッカー認証店舗等で、同一グルー
プの入店を原則2人以内は提供可能(1時～19時
※区域外は20時)
カラオケ設備の利用自粛 等

8月2日 緊急事態措置適用(9月30日まで)
不要不急の外出自粛要請 飲食店一部施設への休業
要請等

8月20日 適切な入場整理等の再要請(百貨店地下
食品売り場は通常営業時の半数程度の入場者を目安)
8月25日 府立学校への部活動原則休止(市町村立
学校・私立学校等へは休止を要請)

10月1日 緊急事態宣言解除
ゴールドステッカー認証店舗では21時までの時短営業
(酒類提供は11時から20時半まで)
ゴールドステッカー未認証店舗では20時までの時短営業
(酒類提供は自粛)
いずれの店舗でも、同一グループテーブルは4人以下
かつカラオケ設備の利用自粛 等

10月25日
会食を行う際の4ルールの徹底(同一テーブル4人以内・
2時間程度以内での飲食・ゴールドステッカー認証店舗
利用・マスク会食)など

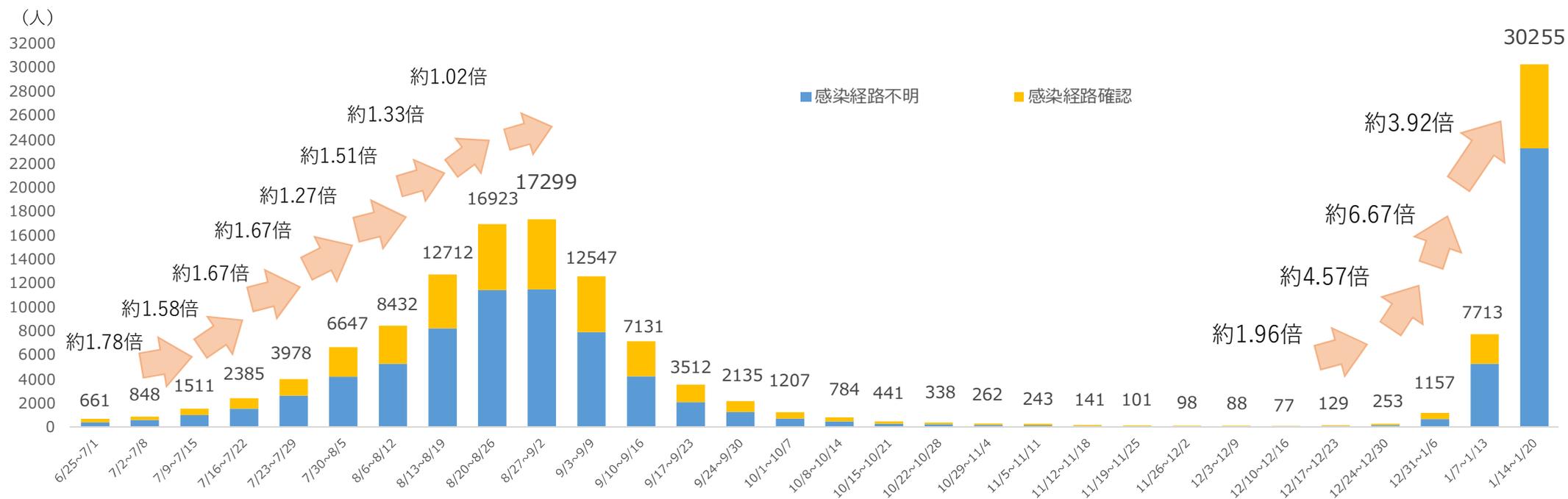
11月8日 水際措置の見直し(ワクチン接種者自宅待機
10日を3日+行動管理7日に変更、外国人の新規入国
制限見直し)

11月30日 全世界対象に外国人新規入国を停止
11月26日 南アフリカなど6か国(27日に10か国に拡大)
からの帰国者に10日間待機を要請

7日間毎の新規陽性者数（1月20日時点）

◆ 直近3週間は過去に類をみない速度で感染が急拡大。（直近1週間は平均約4,322人/日）

国立感染症研究所の分析（R4.1.13）やアドバイザリーボードの評価では、オミクロン株の潜伏期間の短縮（約3日。デルタ株は5日程度）、感染のサイクル（世代時間）の早まり（約2日。デルタ株は約5日）、倍加時間の短縮が指摘されている。



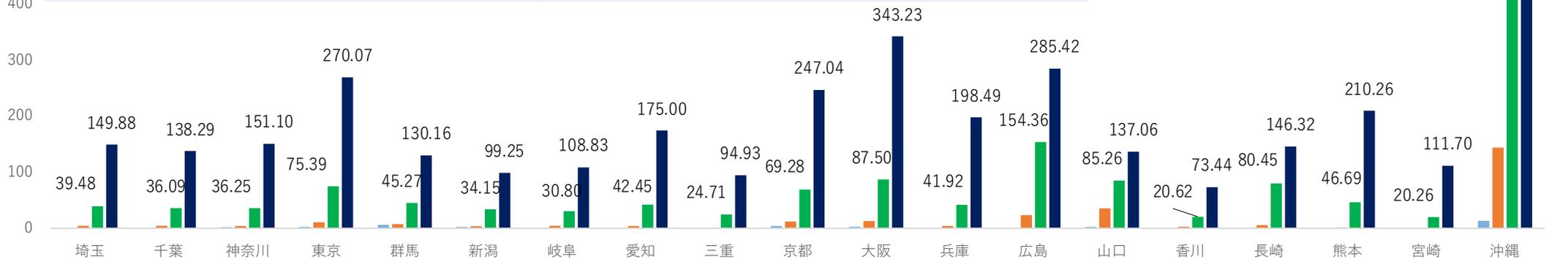
【新規陽性者数の前日増加比】

	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
新規陽性者数	70	57	79	124	244	505	671	891	876	499	613	1711	2452	2826	3692	3760	2549	5396	6101	5933
前日増加比	0.90	0.81	1.39	1.57	1.97	2.07	1.33	1.33	0.98	0.57	1.23	2.79	1.43	1.15	1.31	1.02	0.68	2.12	1.13	0.97

各都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数、病床使用率の状況(1月20日時点) ※数値は大阪府による分析に基づく

◆ まん延防止等重点措置適用区域の広島県や山口県は依然拡大。また、首都圏や関西圏についても急速度で拡大中。まん延防止等重点措置適用区域の沖縄県は、前週よりやや減少したが、依然高水準。

7日間新規陽性者数移動平均 前週増加比	東京都	大阪府	広島県	山口県	沖縄県
12/10-12/16 (前週12/3-12/9)	1.3倍	0.9倍	—	—	1.3倍
12/17-12/23(前週12/10-12/16)	1.4倍	1.7倍	—	3.0倍	1.8倍
12/24-12/30(前週12/17-12/23)	1.6倍	2.0倍	3.6倍	5.5倍	3.6倍
12/31-1/6(前週12/24-12/30)	4.5倍	4.6倍	36.7倍	14.3倍	10.9倍
1/7-1/13(前週12/31-1/6)	6.9倍	6.7倍	6.5倍	2.4倍	4.6倍
1/14-1/20(前週1/7-1/13)	3.6倍	3.9倍	1.8倍	1.6倍	1.0倍



	埼玉 ※1/19	千葉 ※1/19	神奈川	東京	群馬 ※1/19	新潟 ※1/19	岐阜 ※1/19	愛知 ※1/19	三重	京都 ※1/19	大阪	兵庫 ※1/19	広島 ※1/19	山口	香川 ※1/19	長崎 ※1/19	熊本 ※1/19	宮崎 ※1/19	沖縄
A	33.5	14.9	21.2	28.9	44.9	26	32.4	12	27.6	33.1	35.8	41.6	44.3	45.1	29.9	30	39.9	23	57.1
B	2.5	0.0	2.8	1.8	0.0	0	0.0	1	0.0	5.9	2.8	2.1	15.2	2.1	0.0	0	0.0	0	31.6

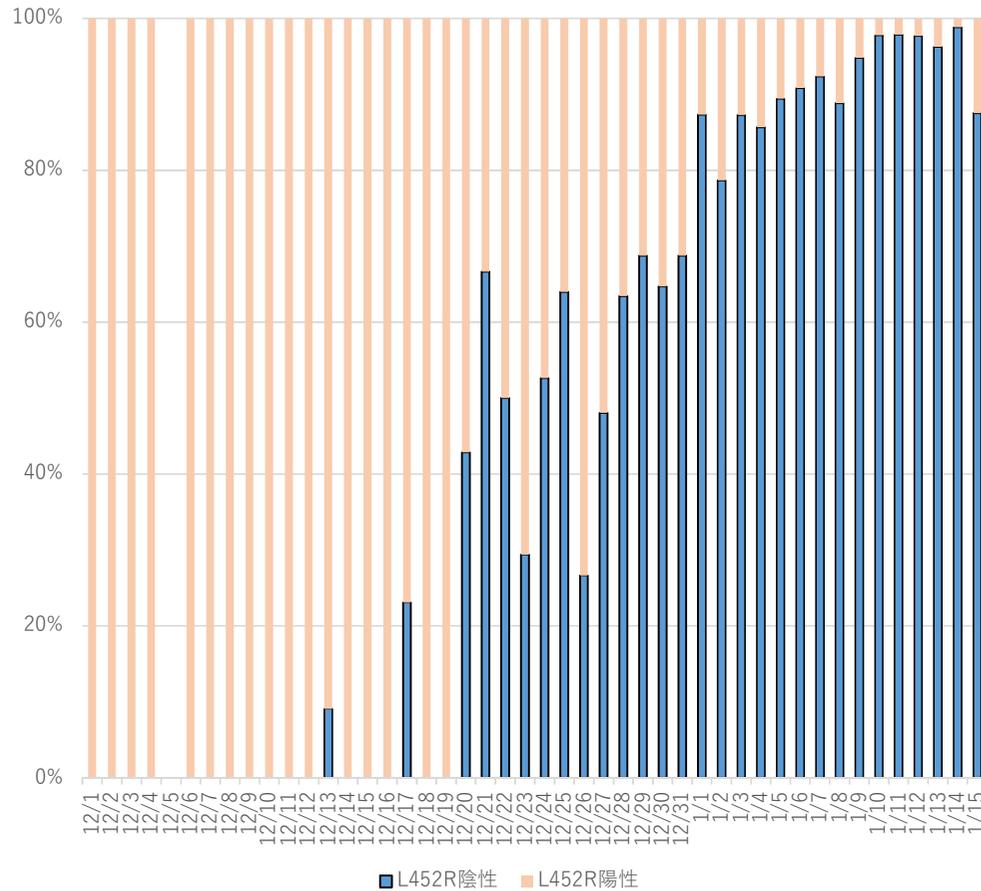
※A:病床使用率 B:重症病床使用率 各府県ホームページ及びNHK新型コロナウイルス特設サイトの情報に基づく

※広島県、山口県、沖縄県はまん延防止等重点措置適用区域

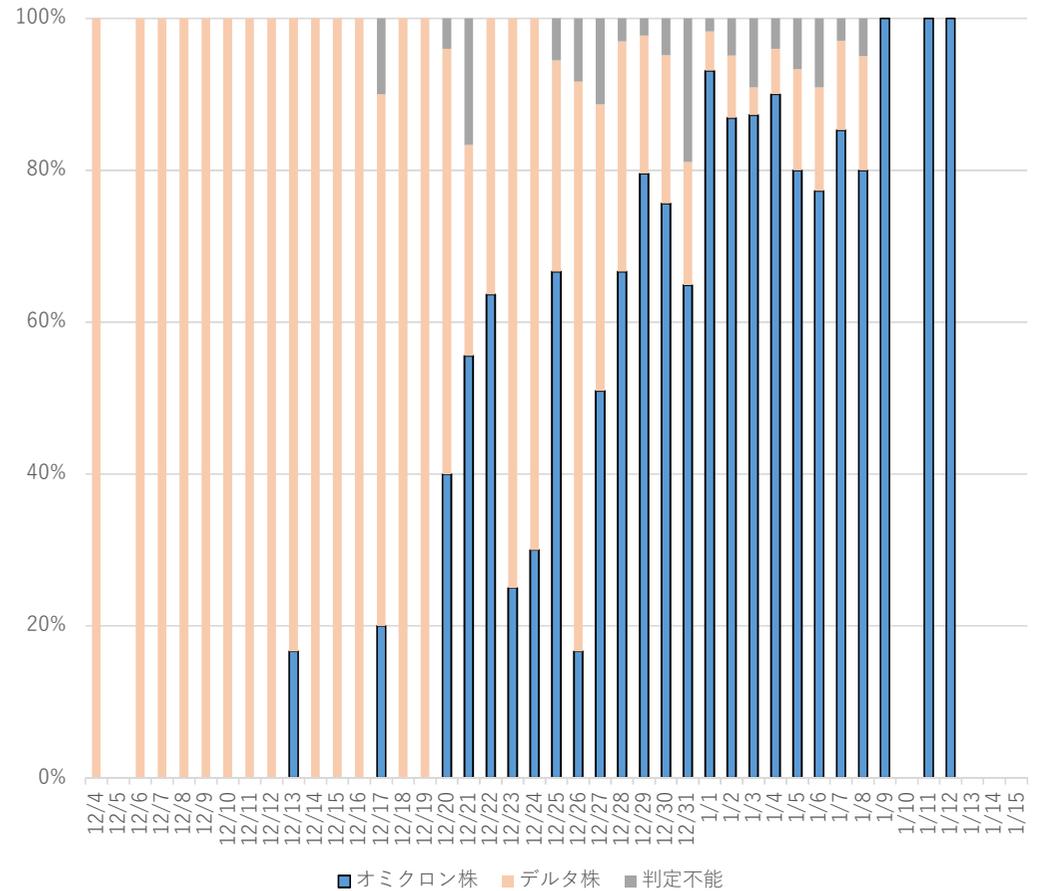
大阪府におけるオミクロン株への置き換わり状況

◆ 直近で実施したL452R変異株PCR及びゲノム解析結果の内訳では、L452R陰性及びオミクロン株の割合が9割程度かそれ以上。

＜L452R変異株PCR検査（検体採取日別）＞



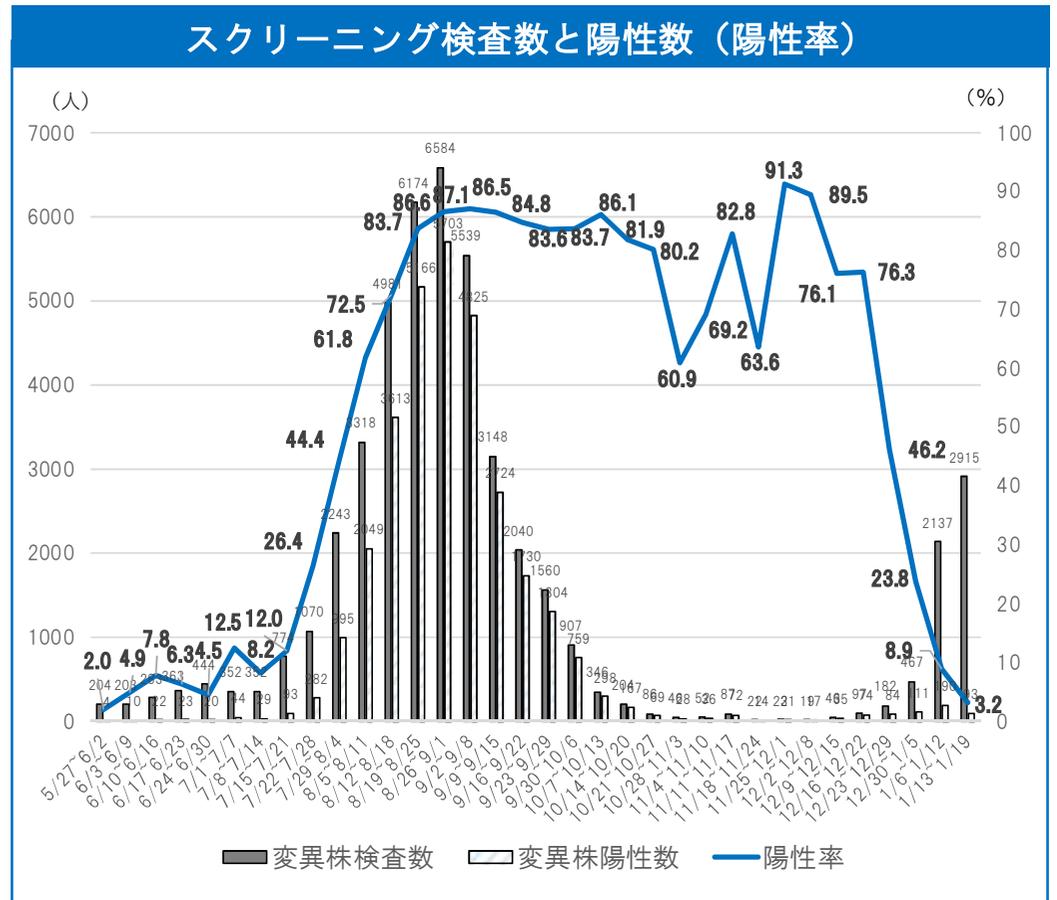
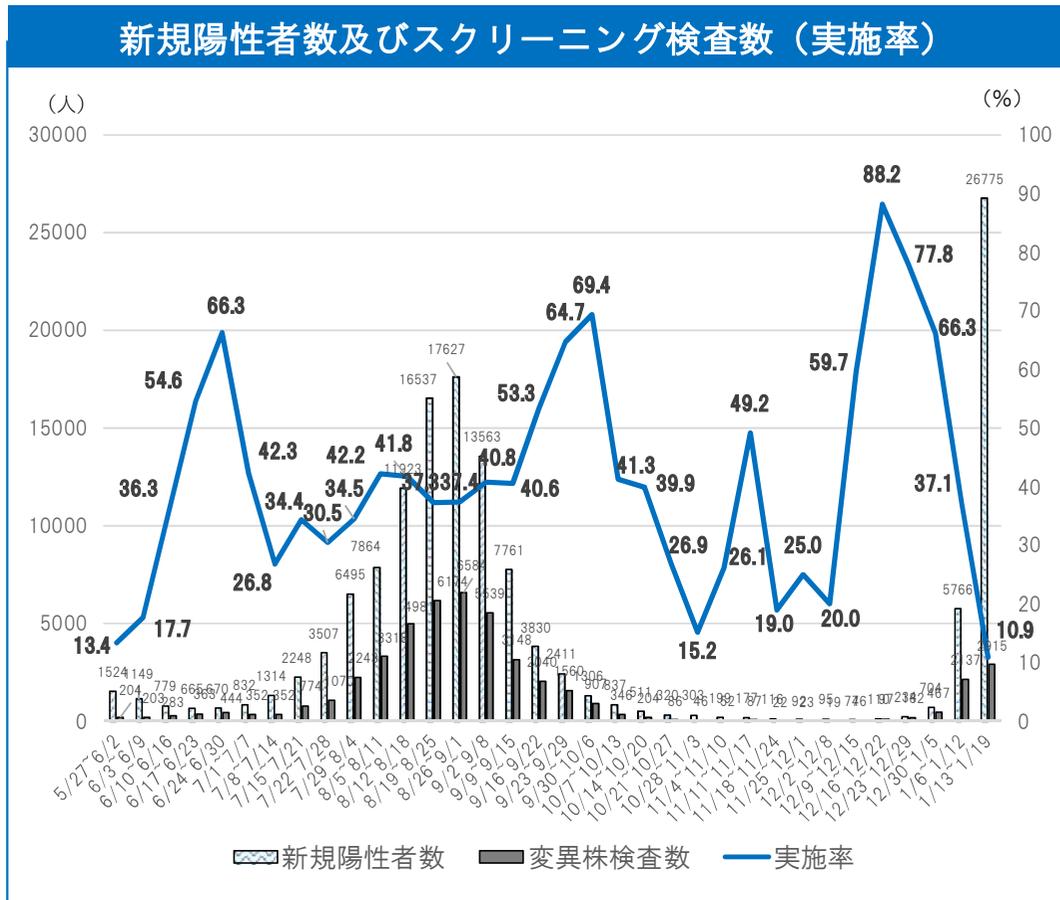
＜ゲノム解析結果（検体採取日別）＞



(注1) ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象に実施しているため、変異株スクリーニング後の全検体に対して実施しているわけではない。

L452R変異株スクリーニングの実施率及び陽性率

◆ 1月19日時点の直近1週間で、スクリーニング検査数に対するデルタ株患者の陽性率は3.2%。

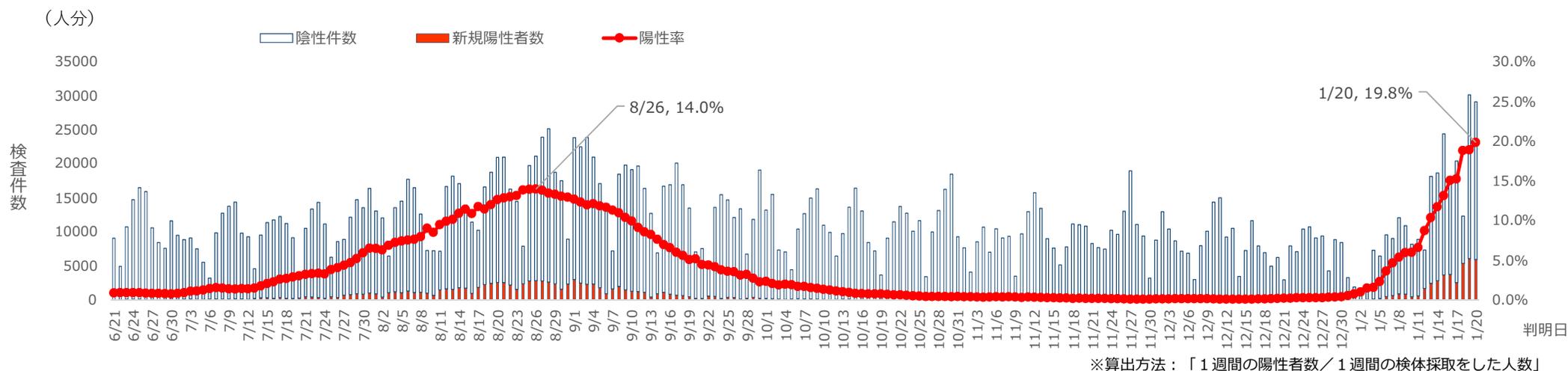


○一般財団法人阪大微生物病研究会でのスクリーニングが始まった5月下旬から1週間毎に集計。（国が委託する大手民間検査機関分も含む）
 新規陽性者は当該週の公表数、スクリーニング検査数及びスクリーニング陽性数は当該週の結果判明数として、実施率及び陽性率を機械的に算出。

検査件数と陽性率

- ◆ 陽性率は19.8%であり、連日、増加。
- ◆ 直近1週間で、自費検査は約3%、無料検査は約5%の陽性判明率。無症状感染者が市中に一定数存在。

【行政検査】



【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3~1/9	7,540 件	180 名	2.4 %
1/10~1/16	15,050 件	424 名	2.8 %

【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

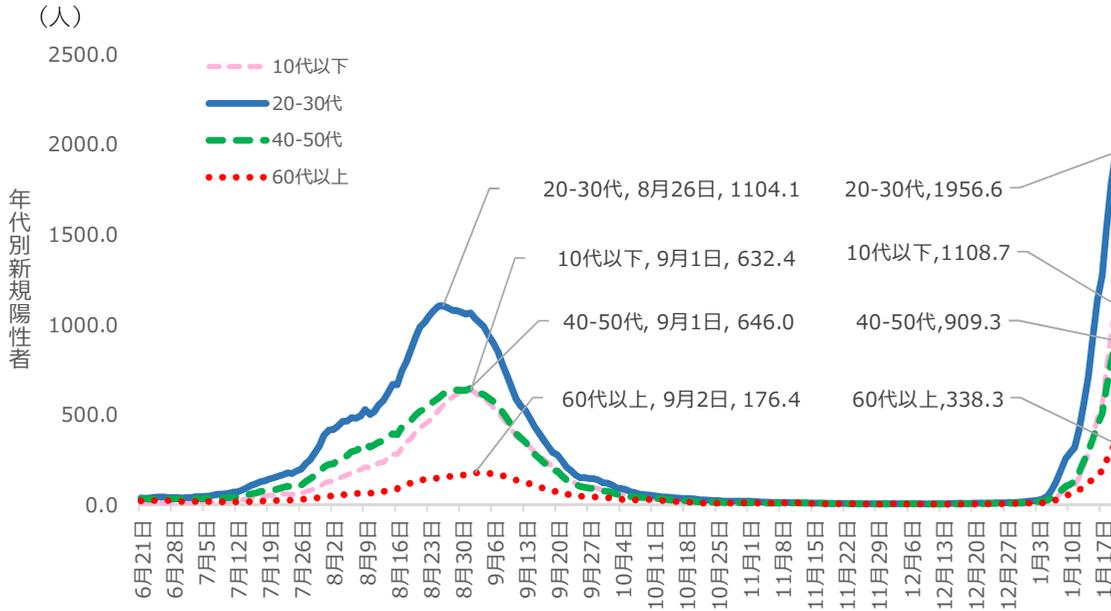
期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/3~1/9	21,246 件	415 名	2.0 %
1/10~1/16	43,460 件	2,124 名	4.9 %

※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としています。
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別できません。)

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移と年代構成

◆ 各年代で、新規陽性者数の増加が続いている。

【年代別新規陽性者移動平均（1月20日時点）】

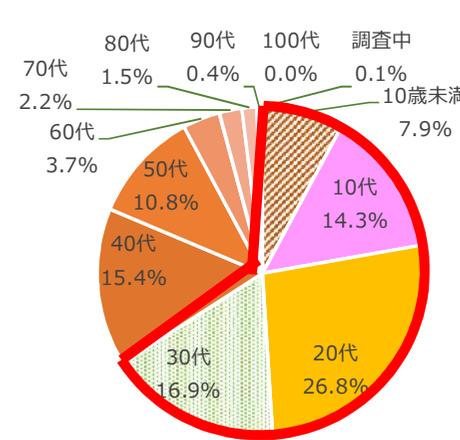


	第五波（最高値）	第六波（1/20）
10代以下	632.4(9/1)	1108.7
20-30代	1104.1(8/26)	1956.6
40-50代	646.0(9/1)	909.3
60代以上	176.4(9/2)	338.3

【新規陽性者の年代構成】

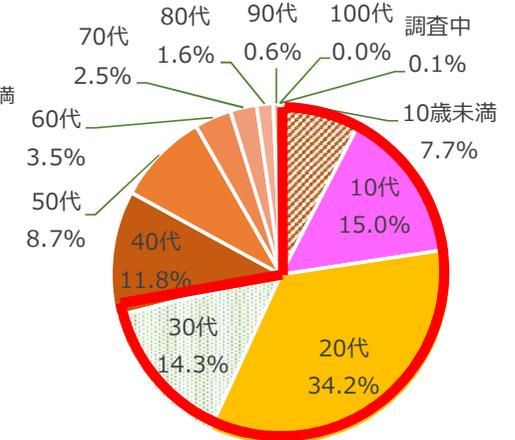
第五波(6.21-12.16)

100,891人



第六波(12.17-1.18)

27,475人



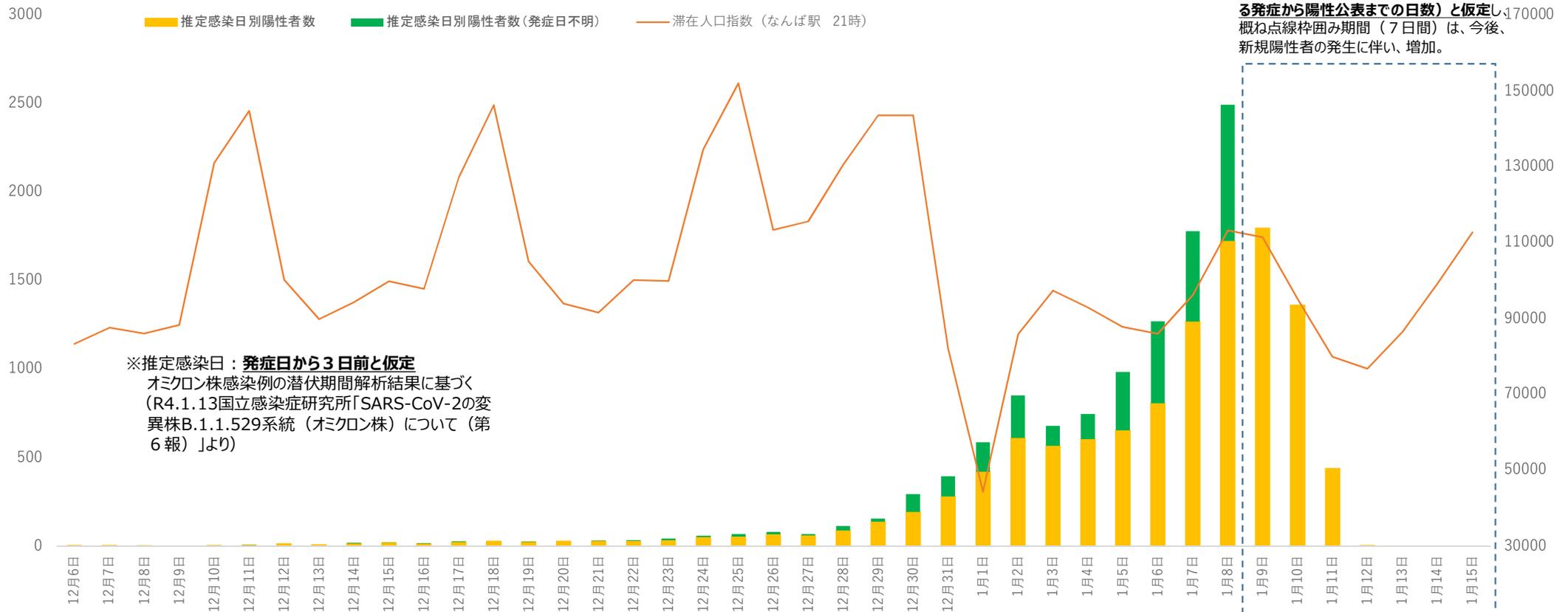
	第五波	第六波
30代以下の割合 (うち、10代以下の割合)	65.9% (22.2%)	71.1% (22.6%)
40・50代の割合	26.2%	20.6%
60代以上の割合	7.8%	8.2%

推定感染日別陽性者数と人流（夜間）（1月15日時点）

◆ 年末年始に推定感染したと想定される陽性者が急増。

（国立感染症研究所によるオミクロン株感染例の潜伏期間を3日に修正（併せて、発症から陽性判明日までの日数を第五波の平均値に修正）

（12月17日以降 1月15日までの判明日分14,536名（調査中、無症状除く））



※有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から7日遡って算出
 人流は、駅中心半径500mエリアの各時間ごと滞在人口をカウント【出典：株式会社Agoop】

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

モニタリング指標	警戒の目安	非常事態の目安	非常事態解除の目安	警戒解除の目安	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	1/20	現在の状況
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	35人以上 (※1)	—	—	—	111.94	143.72	176.44	199.69	253.93	303.73	343.22	急増中
病床使用率 重症・軽症中等症ともに確保病床数を分母	20%以上	50%以上	7日間連続 50%未満	7日間連続 20%未満	21.5%	24.1%	27.1%	28.9%	29.0%	31.3%	35.8%	20日に、国へのまん延防止等重点措置適用の要請目安35%を超過
重症病床使用率 非常事態の確保病床数を分母	10%以上	40%以上	7日間連続 40%未満	7日間連続 10%未満	1.1%	1.5%	1.5%	1.8%	2.3%	2.1%	2.8%	増加傾向
信号（一定期間点灯させた後、消灯）	<u>上記いずれか</u> が 目安に達した場合（※2） 黄	<u>上記いずれか</u> が 目安に達した場合 赤	<u>上記全て</u> が 目安に達した場合 黄	<u>上記全て</u> が 目安に達した場合 緑	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	

（※2） 新規陽性者数の前週増加比	4日連続1を超過	—	—	—	5.64	4.93	4.59	4.62	5.21	4.64	3.92	過去類を見ない増加比で推移
----------------------	----------	---	---	---	------	------	------	------	------	------	------	---------------

【参考指標】

軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	25.5%	28.6%	32.1%	34.2%	34.3%	37.0%	42.3%	連日、2～3%程度増加
宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	18.6%	20.4%	21.3%	22.0%	23.4%	24.8%	25.8%	連日、1～2%程度増加

（※1）新規陽性者数が600人に達した時点における「直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数」

（※2）新規陽性者数の前週増加比が過去4日間連続で1を超過している場合（感染拡大傾向）において、いずれかの指標が「警戒の目安」を満たした場合、即時に「警戒」にステージ移行し、対策本部長が府民等へ感染リスクの高い行動回避の呼びかけを行う。

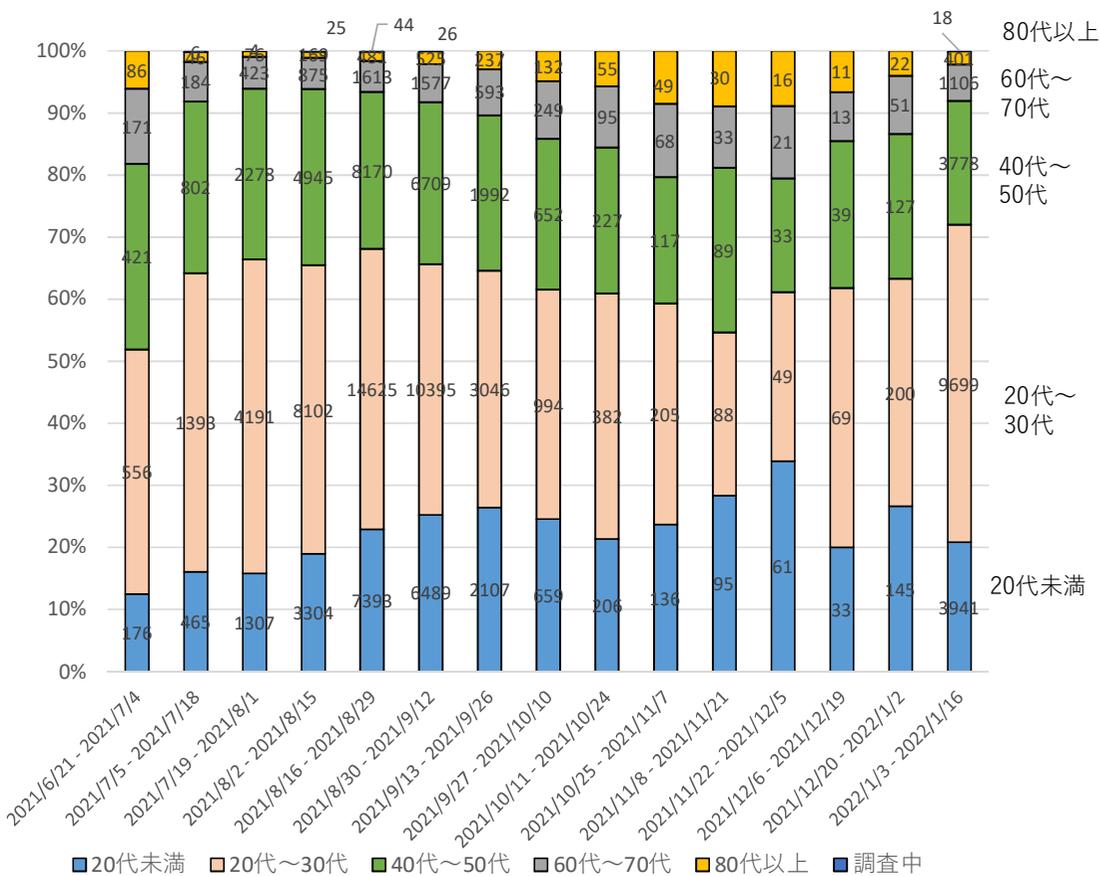
2 年代・居住地・感染経路等

陽性者の年齢区分

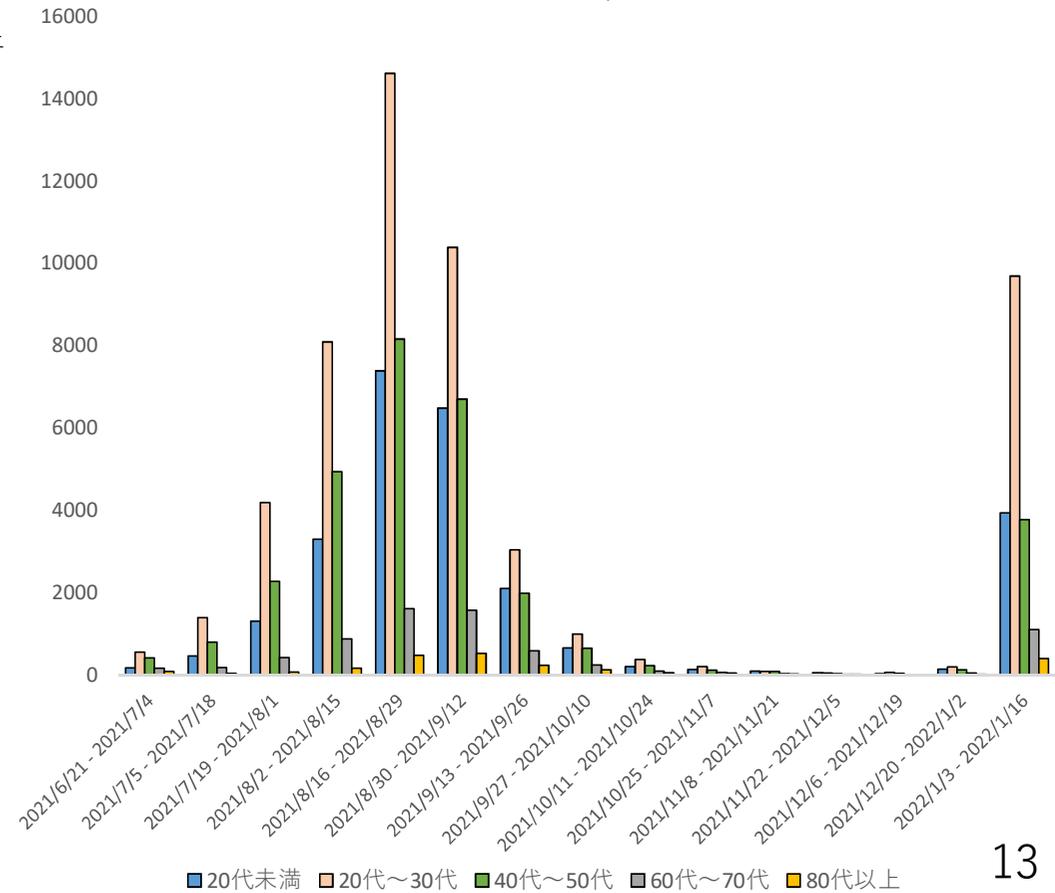
◆ 直近2週間で、50代までの陽性者の割合が急増し、7割を超過。特に20代～30代陽性者数が顕著に増加。

(6月21日以降1月16日までに判明した120,421事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



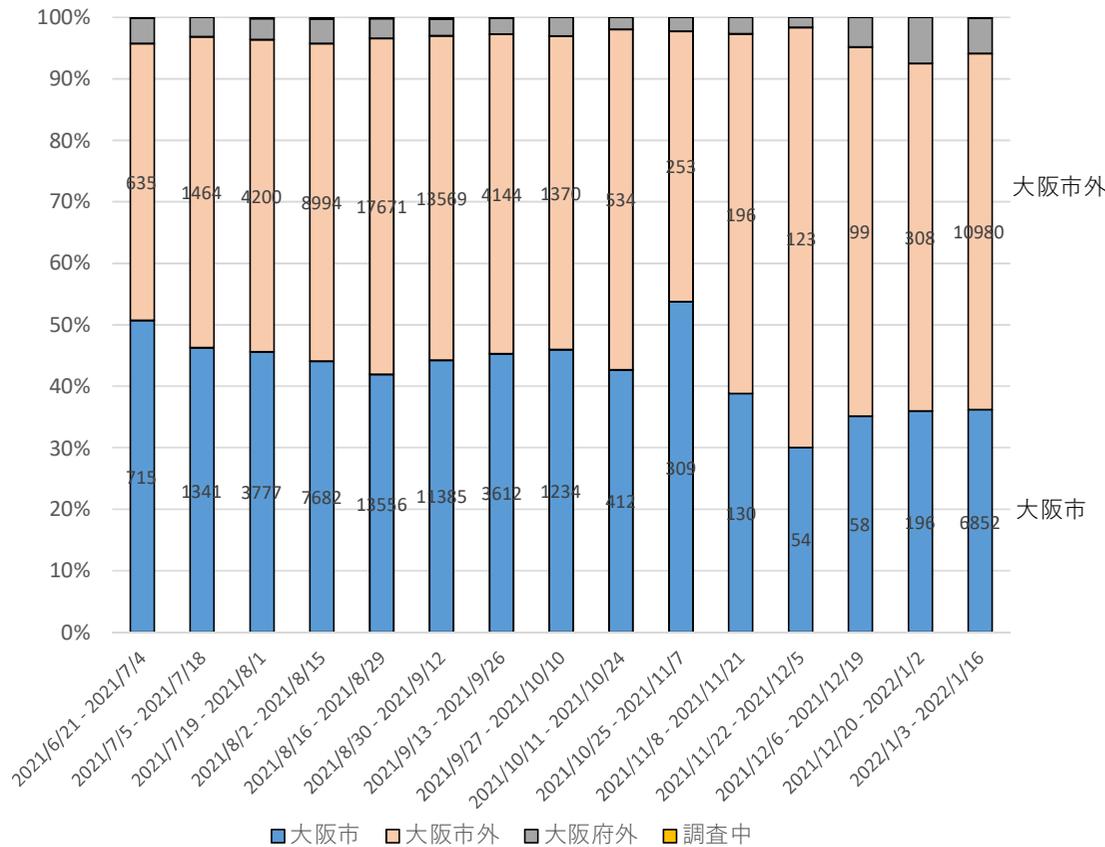
陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



陽性者の居住地

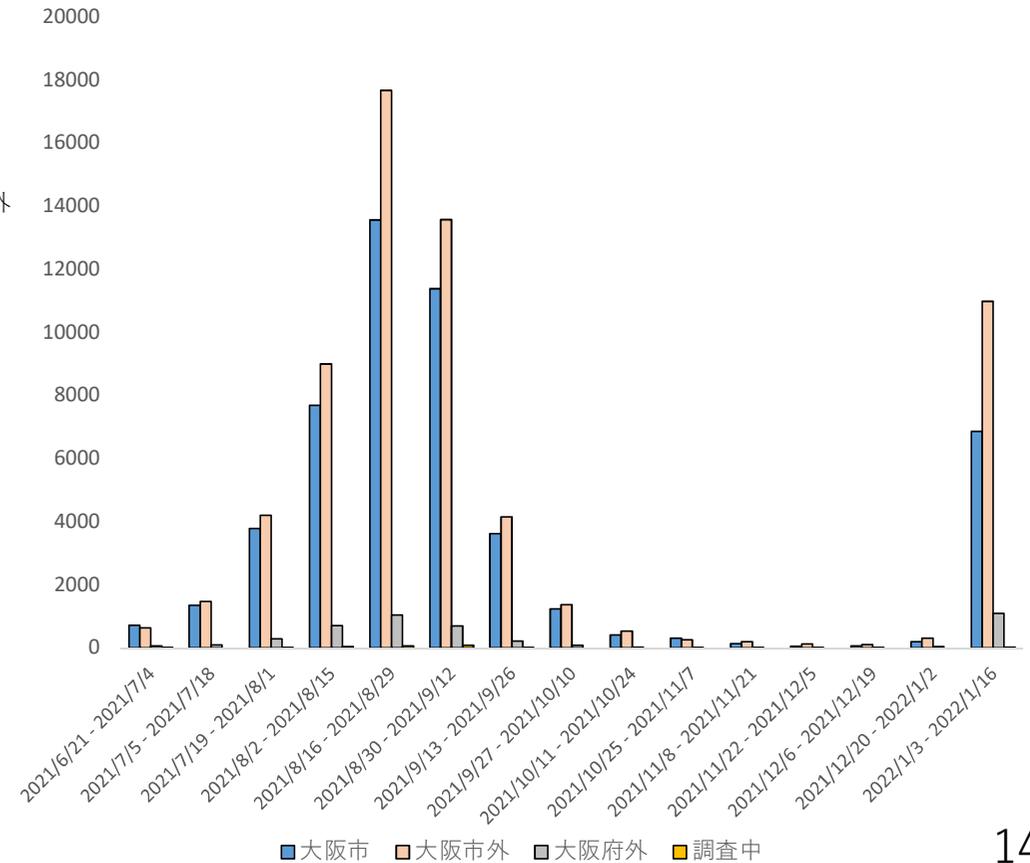
◆ 直近1か月では、大阪市内居住者が4割弱、市外が6割弱。

陽性者の居住地区分（割合、2週間単位）



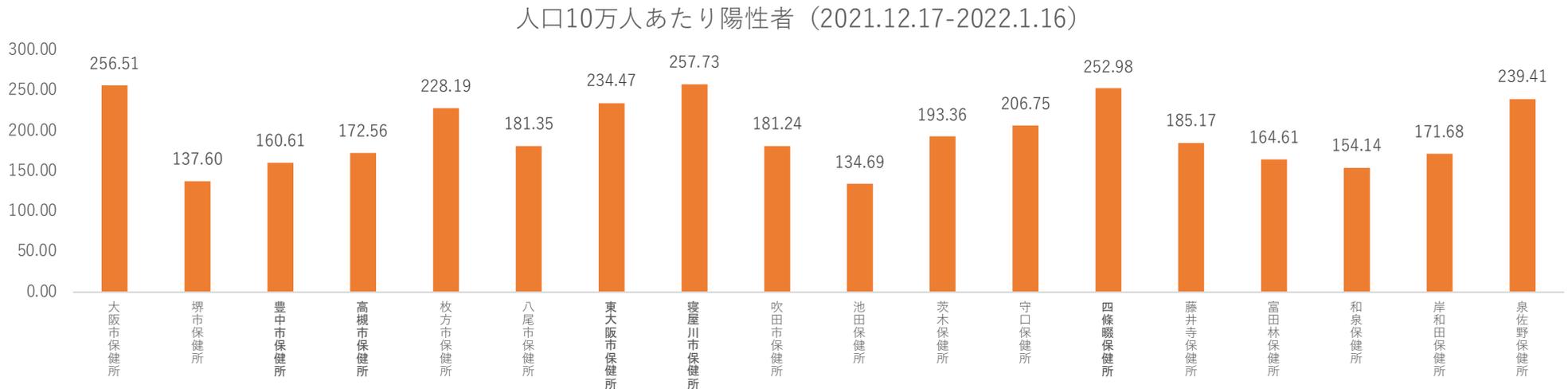
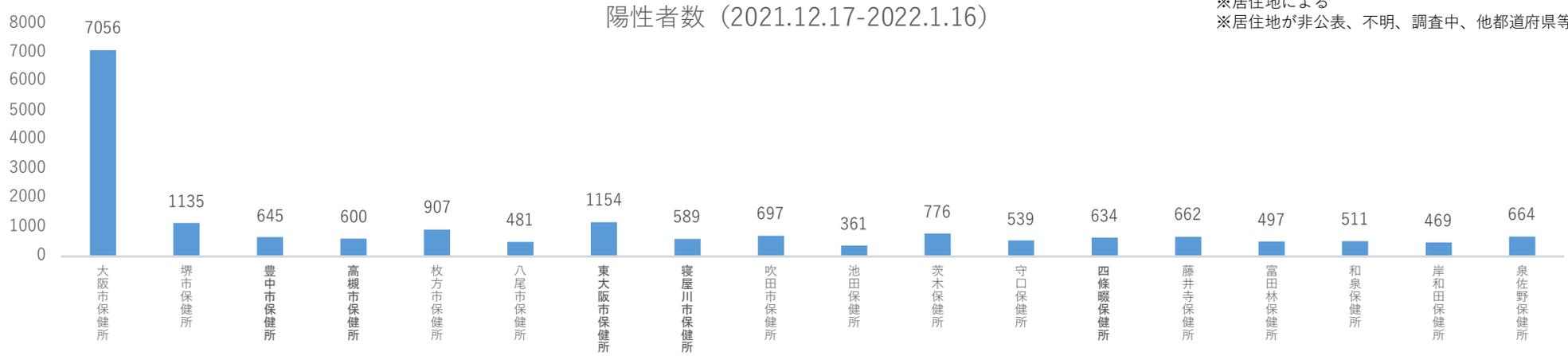
(6月21日以降1月16日までに判明した120,421事例の状況)

陽性者の居住地区分（実数、2週間単位）



第六波の保健所管内別陽性者の状況

令和3年12月17日～令和4年1月16日の新規陽性者数
 ※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



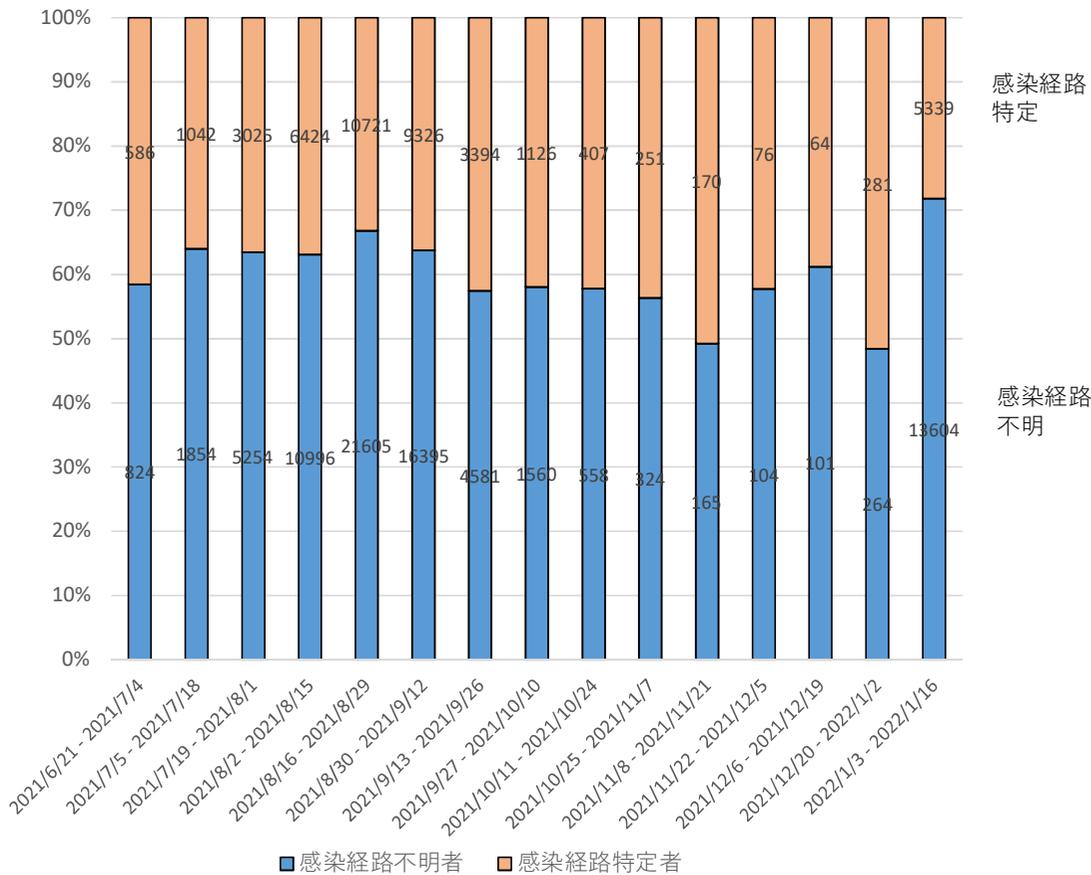
【池田】池田市・箕面市・豊能町・能勢町 【茨木】茨木市・摂津市・島本町 【守口】守口市・門真市 【四條畷】大東市・四條畷市・交野市
 【藤井寺】松原市・羽曳野市・柏原市・藤井寺市 【富田林】富田林市・河内長野市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村
 【和泉】泉大津市・和泉市・高石市・忠岡町 【岸和田】岸和田市・貝塚市 【泉佐野】泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・田尻町・岬町

陽性者の感染経路の状況

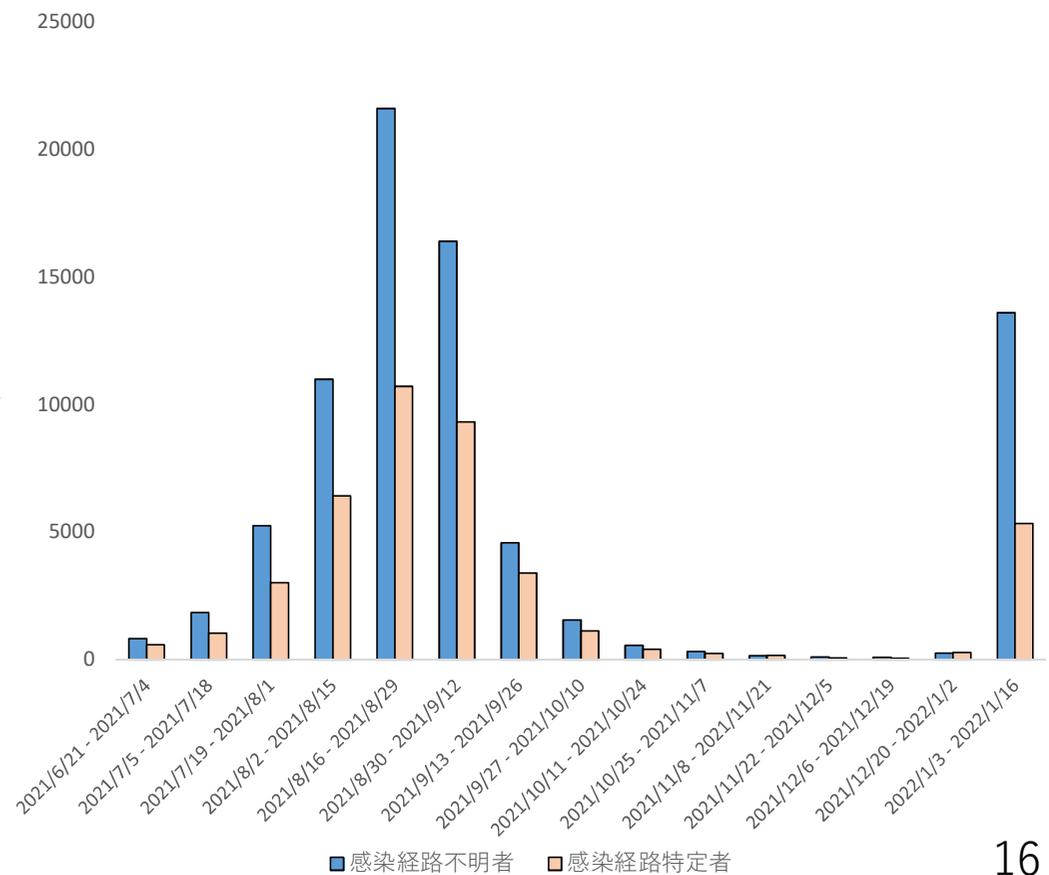
◆ 直近2週間で、感染経路不明の割合は7割を超過。

(6月21日以降1月16日までに判明した120,421事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

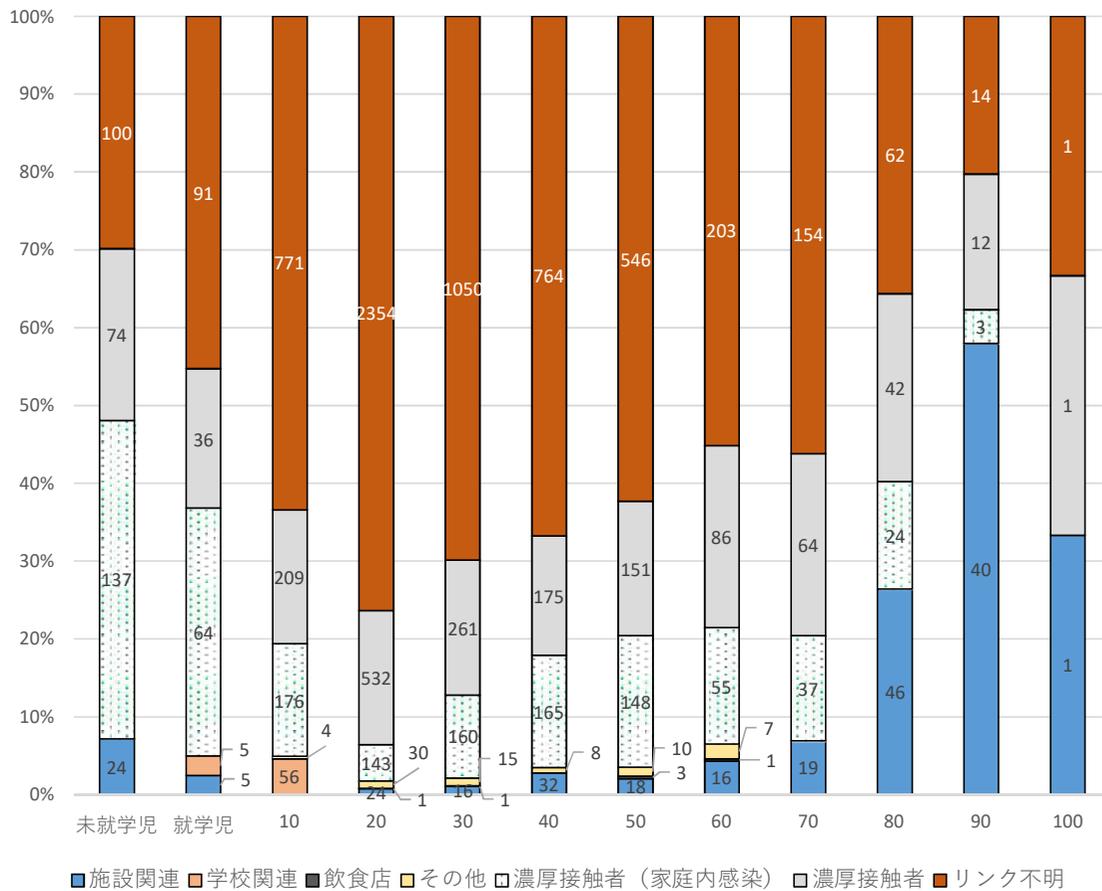


感染経路

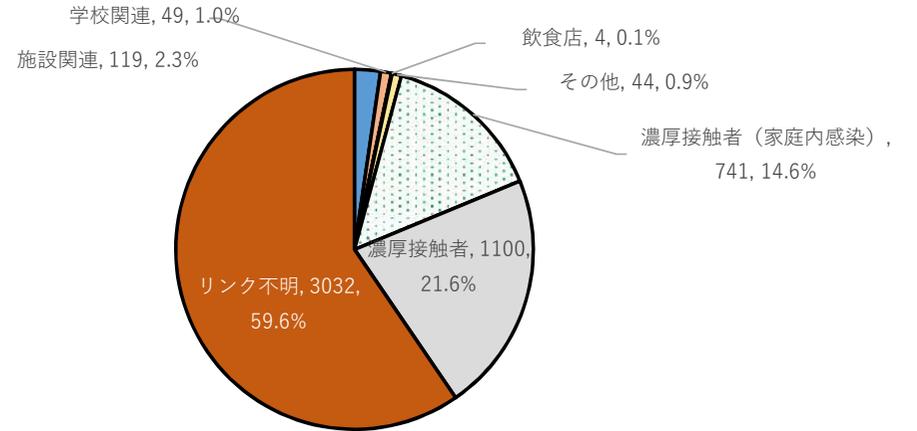
◆ 第六波の新規陽性者の感染経路は、第五波と比べ、施設関連や濃厚接触者の割合が増加。

(12月17日以降1月16日までに判明した9,252事例の状況)

年代別感染経路



全年代感染経路



時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第一波	15.9%	0.2%	0.0%	5.3%	12.2%	16.2%	50.2%
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波	6.0%	0.5%	0.0%	1.0%	16.4%	16.7%	59.3%
第五波	1.6%	0.8%	0.0%	1.1%	17.0%	15.7%	63.7%
第六波	2.3%	1.0%	0.1%	0.9%	14.6%	21.6%	59.6%

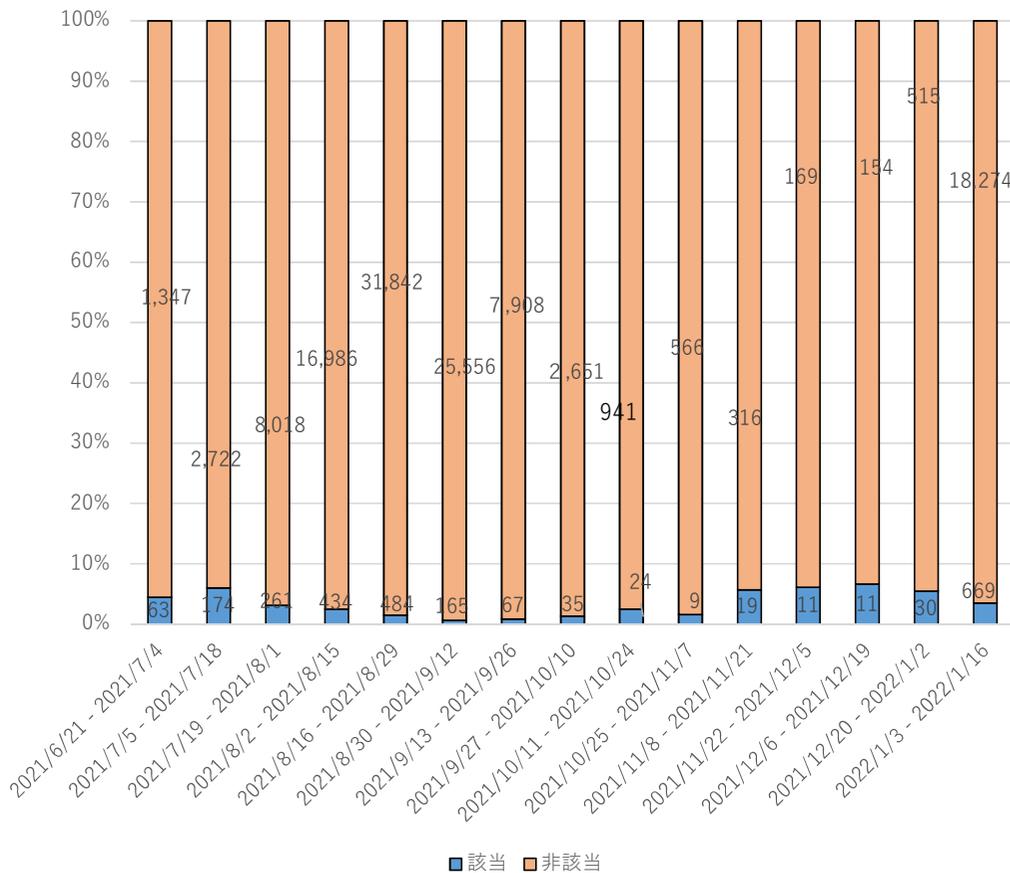
3 感染エピソード

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

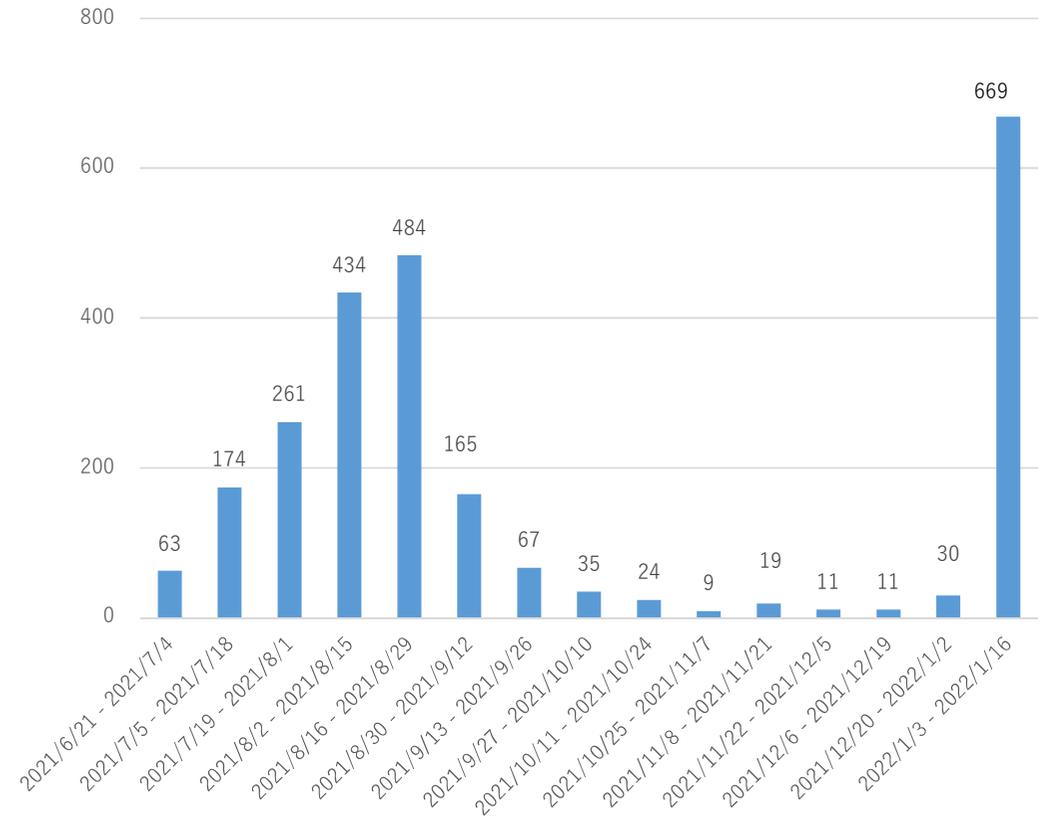
◆ 夜の街の関係者及び滞在者が陽性者に占める割合は、11月以降1割弱。ただし、人数は急増しており、第二波以降最多。

（6月21日以降1月16日までに判明した120,421事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

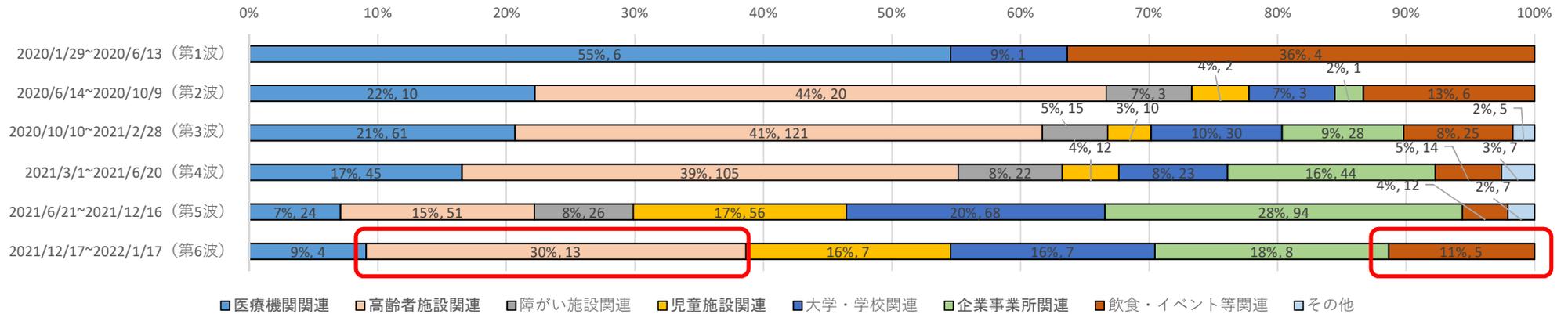


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

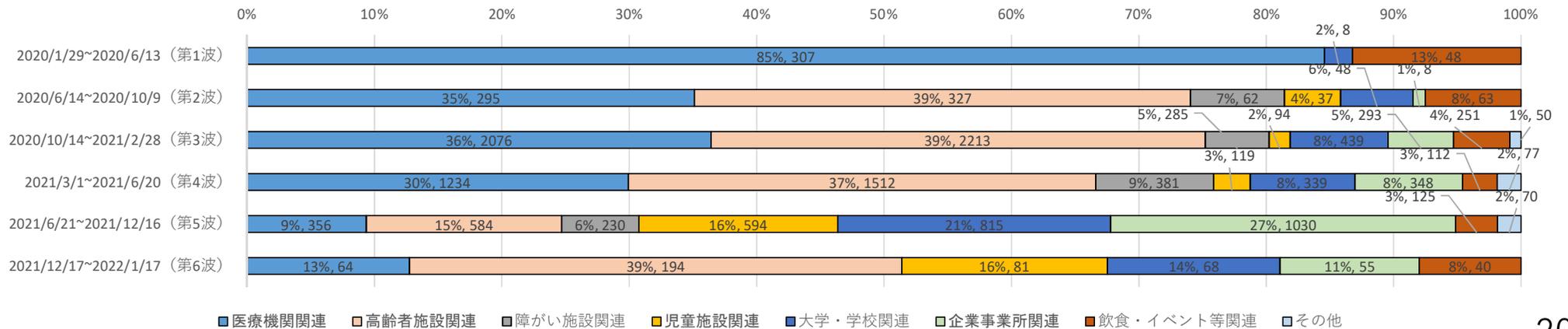
クラスターの状況【割合】

◆ 第六波は、第五波と比べ、高齢者施設関連と飲食・イベント等関連クラスターが増加。

施設数（割合）



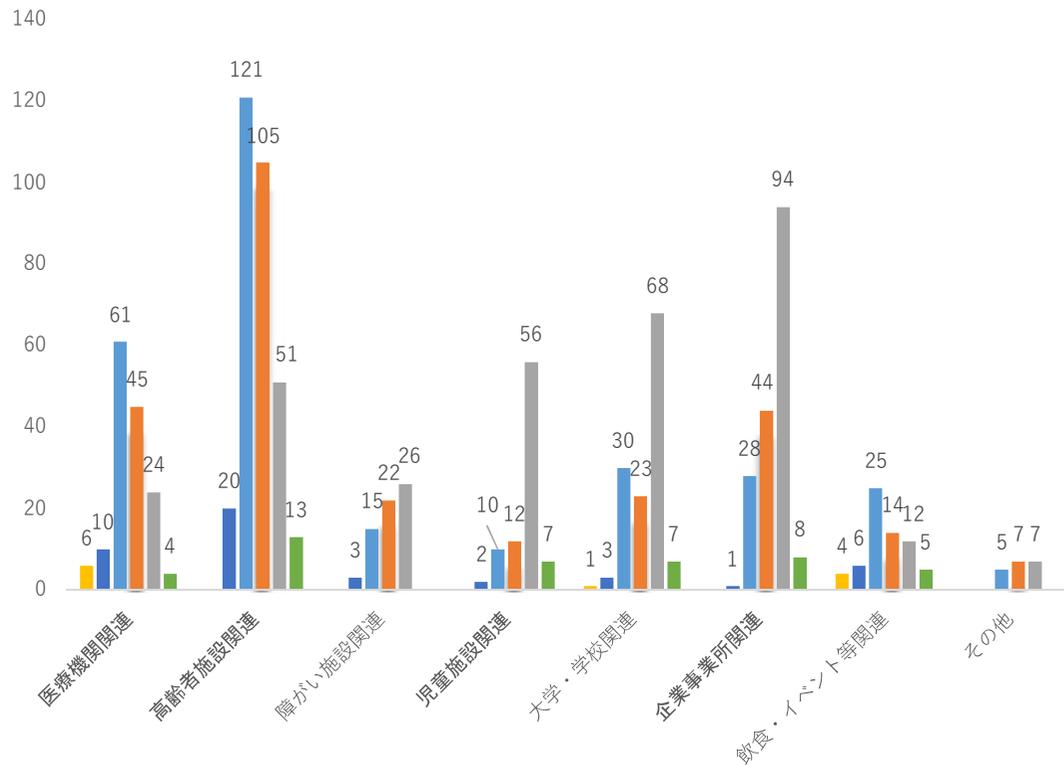
陽性者数（割合）



本人からの聞き取り情報による

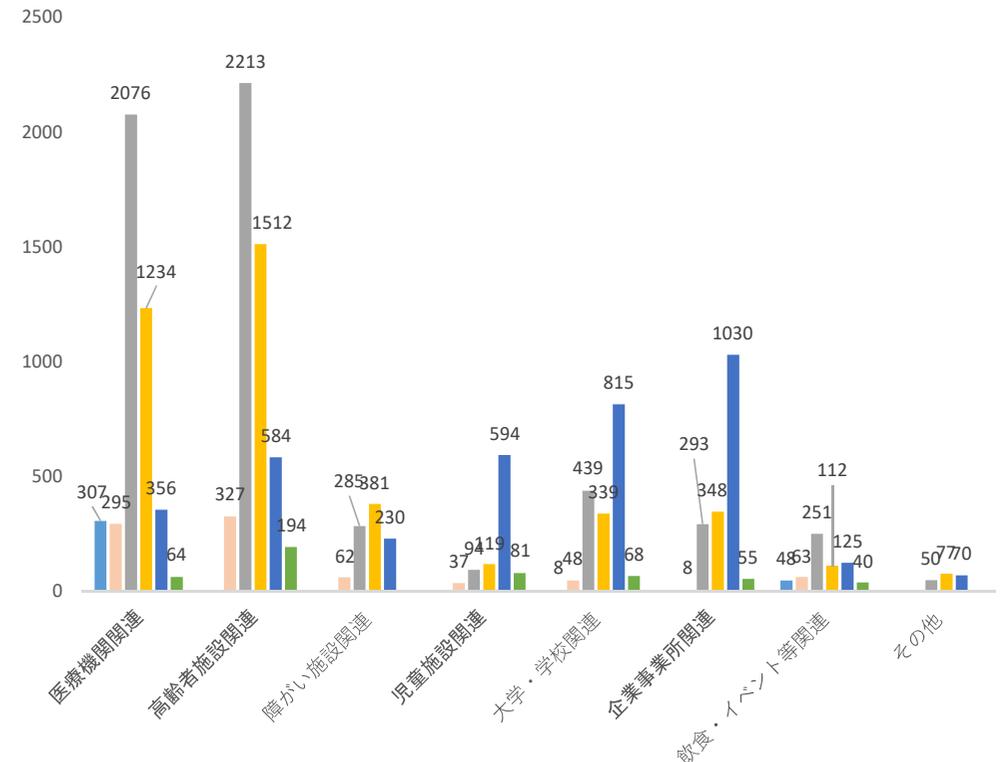
クラスター状況【実数】

クラスターの施設数



■ 2020/1/29~2020/6/13 (第1波) ■ 2020/6/14~2020/10/9 (第2波)
■ 2020/10/10~2021/2/28 (第3波) ■ 2021/3/1~2021/6/20 (第4波)
■ 2021/6/21~2021/12/16 (第5波) ■ 2021/12/17~2022/1/17 (第6波)

クラスターの陽性者数



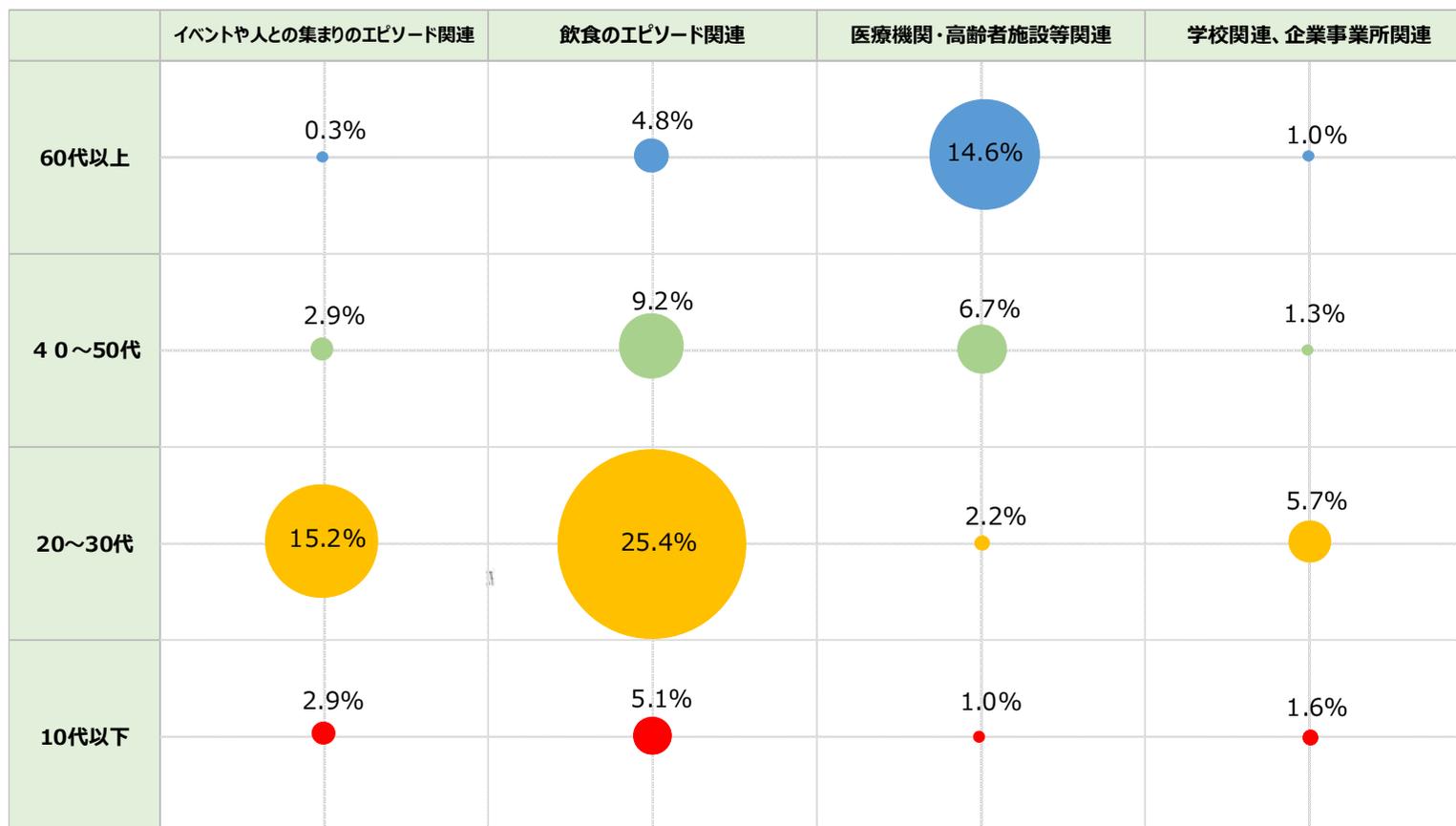
■ 2020/1/29~2020/6/13 (第1波) ■ 2020/6/14~2020/10/9 (第2波)
■ 2020/10/14~2021/2/28 (第3波) ■ 2021/3/1~2021/6/20 (第4波)
■ 2021/6/21~2021/12/16 (第5波) ■ 2021/12/17~2022/1/17 (第6波)

本人からの聞き取り情報による

第六波におけるエピソードや感染場所が明確となっている陽性者の区分

- ◆ 20・30代は、他の年代層よりイベントや人との集まり、飲食のエピソードがある陽性者が多い。
また、40・50代においても、飲食のエピソードがある陽性者が比較的多い。

1月4日～10日に、感染経路として感染場所が明確である陽性者及び、感染経路不明ではあるが感染の可能性のあるエピソードが確認された陽性者計315名を分析



※左記分析には、以下の人数を含めない

濃厚接触者 (家庭内感染)	516名
濃厚接触者	861名
感染経路不明	2,127名

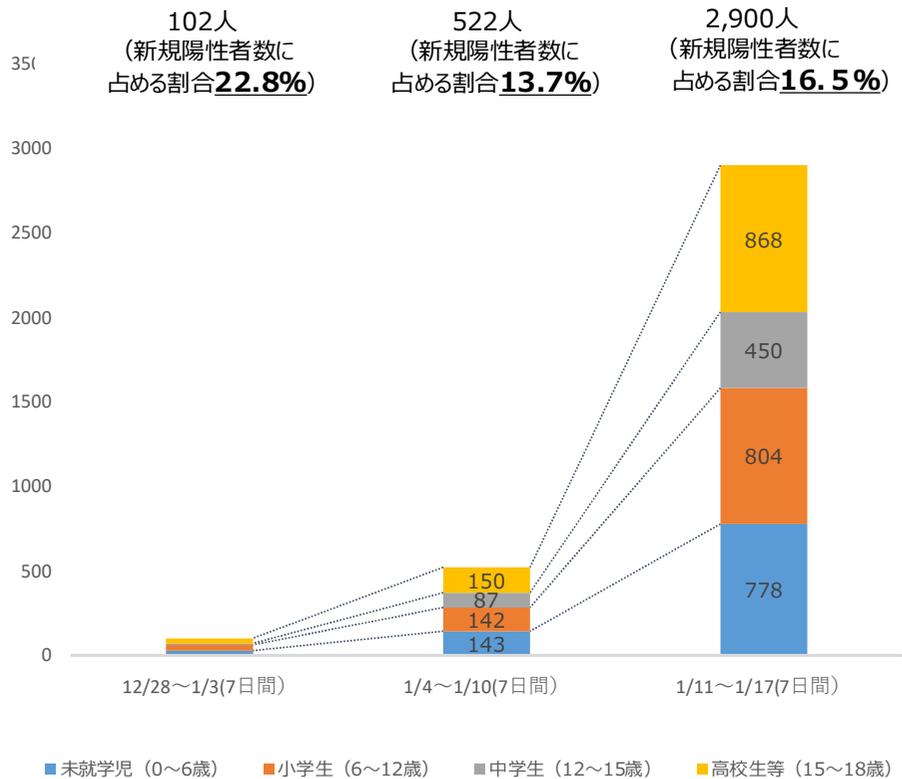
※エピソードについては、感染経路不明の陽性者のなかで、当該エピソードを有する人を抽出
医療機関・高齢者施設等関連は、医療機関、高齢者施設、児童福祉施設クラスターの陽性者数を合算

第六波 10代以下の新規陽性者の状況（1月17日時点）

◆ 1月11日に学校が本格的に始業し、18歳以下新規陽性者数が全陽性者数に占める割合がやや増加。
また、府立学校においても、1月11日からの1週間で臨時休業した学校数（のべ数）が75校となっている。

■ 第六波 18歳以下新規陽性者数の推移（12/28～1/17時点）

未就学児、小中学生、高校生等の新規陽性者数の推移



※HER-SYSより抽出

■ 府立学校（高校・支援学校 全176校）臨時休業・府立学校在籍の新規陽性者数

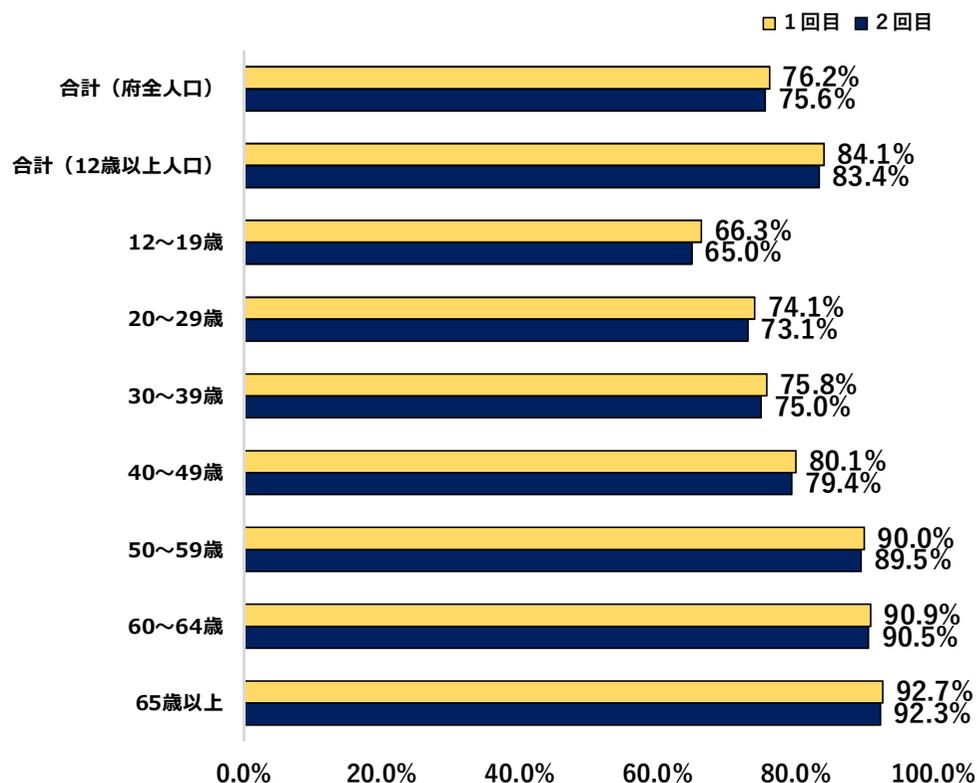
	12/28～1/3	1/4～1/10	1/11～1/17
臨時休業した学校数（のべ数）	1校	0校	75校
府立学校在籍の陽性者数（うち、教職員数）	30名 （うち 4名）	53名 （うち 7名）	475名 （うち 32名）

4 感染状況とワクチンの接種状況

年齢別ワクチン接種率及び新規陽性者数

- ◆ 1月(1/1~1/9まで)に判明した新規陽性者のうち、2回接種済の者は1,676名(47.7%)。ワクチン2回接種による発症予防効果は、デルタ株と比較してオミクロン株への感染では著しく低下していることが示されていることから、ワクチン接種歴にかかわらず、感染予防対策の徹底が必要。3回目接種によりオミクロン株に対する発症・入院予防効果の回復が期待。

ワクチン接種状況 (1月16日時点)



※ワクチン接種率 (状況) : 1月17日にVRSデータより算出した数値

新規陽性者における2回接種済の割合の推移 (判明月別)



1月判明	新規陽性者数	2回接種済		接種なし・不明		1回接種済	
		陽性者数	割合	陽性者数	割合	陽性者数	割合
20・30代	1812	837	46.2%	949	52.4%	26	1.4%
40・50代	738	442	59.9%	286	38.8%	10	1.4%
60代以上	350	240	68.6%	108	30.9%	2	0.6%
総計	3517	1676	47.7%	1,797	51.1%	44	1.3%

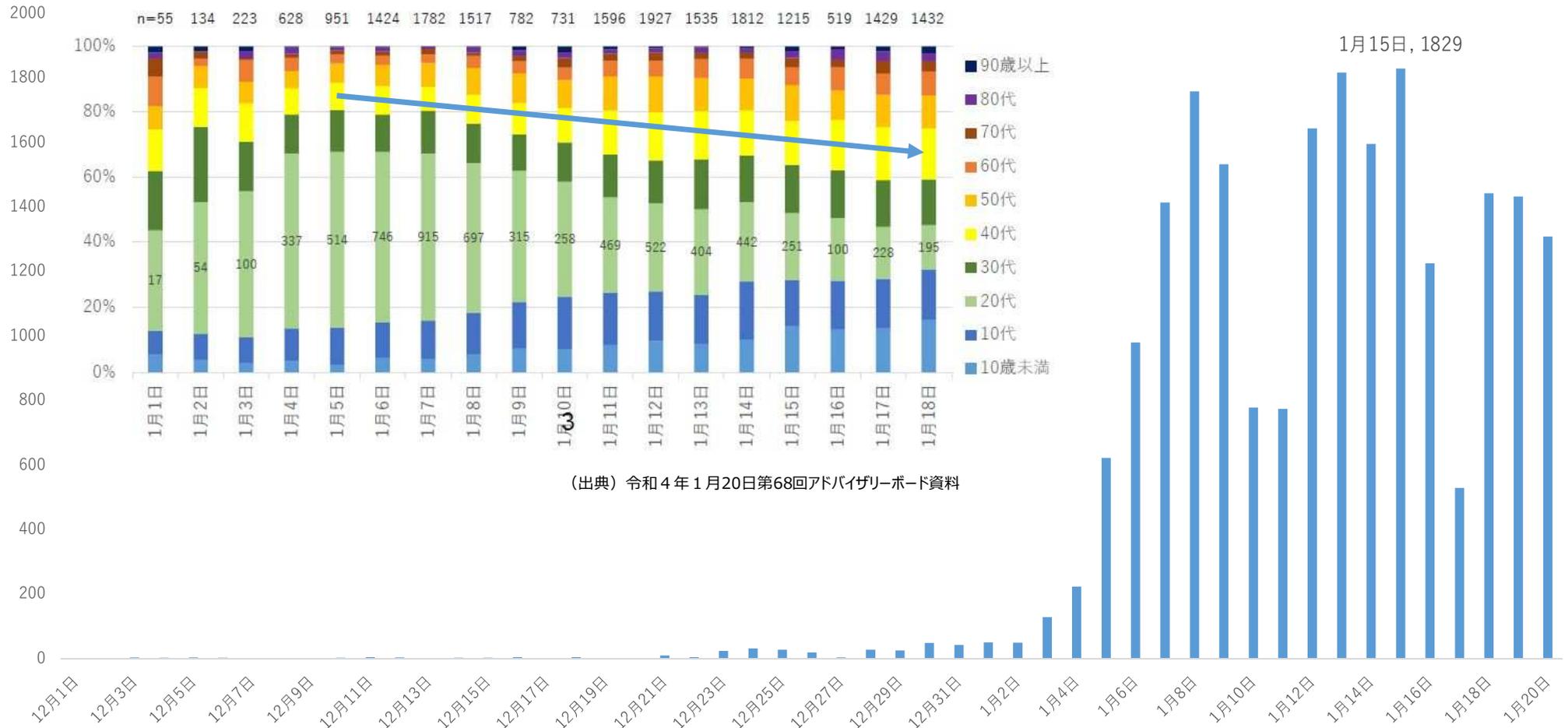
※2回接種済1676名には、3回接種済の者13名も含まれる。

※陽性者のワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく (1月9日判明時点)

5 沖縄県・諸外国の感染状況

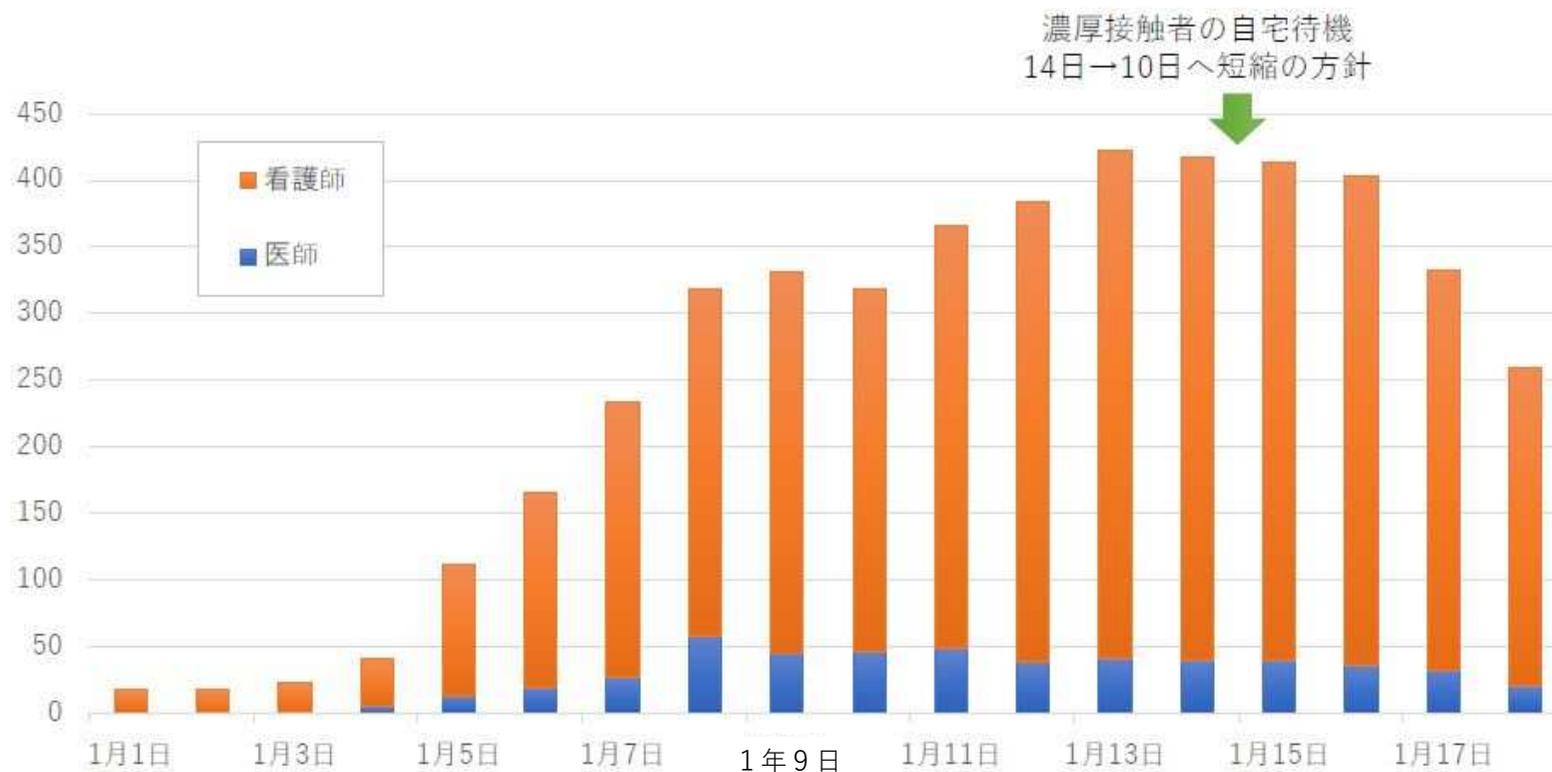
【参考】 沖縄県の新規陽性者数の推移

- ◆ 年始より急速に感染が拡大。15日に過去最多を記録し、以降、減少傾向だが、依然高水準で推移。また、直近では、若者中心だった感染が、小児、中高年へと全世代へと拡大。



【参考】 沖縄県の重点医療機関における医師、看護師の休職数

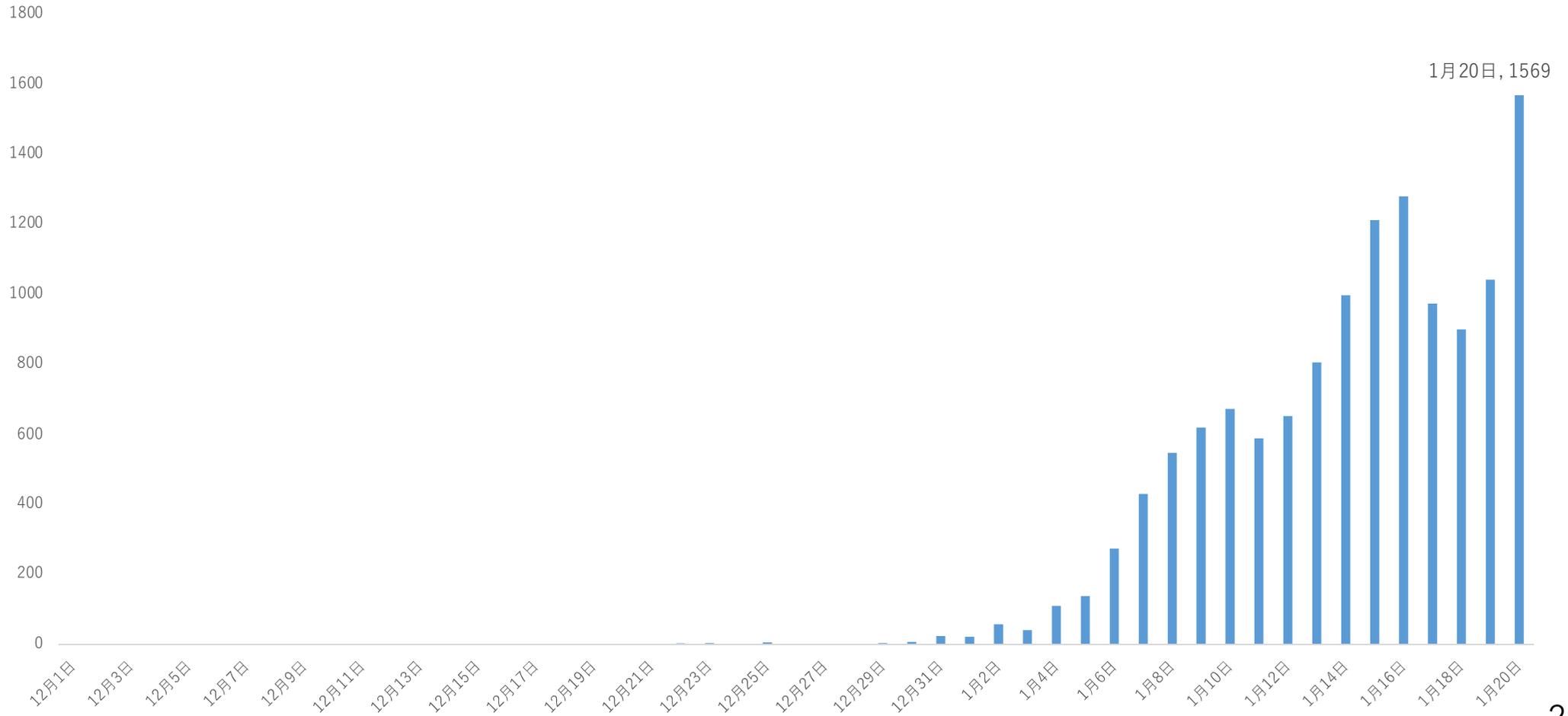
◆ 沖縄県では、急速な感染拡大により、医師や看護師が感染者や濃厚接触者となることで休職が急増。



(出典) 令和4年1月20日第68回アドバイザーボード資料

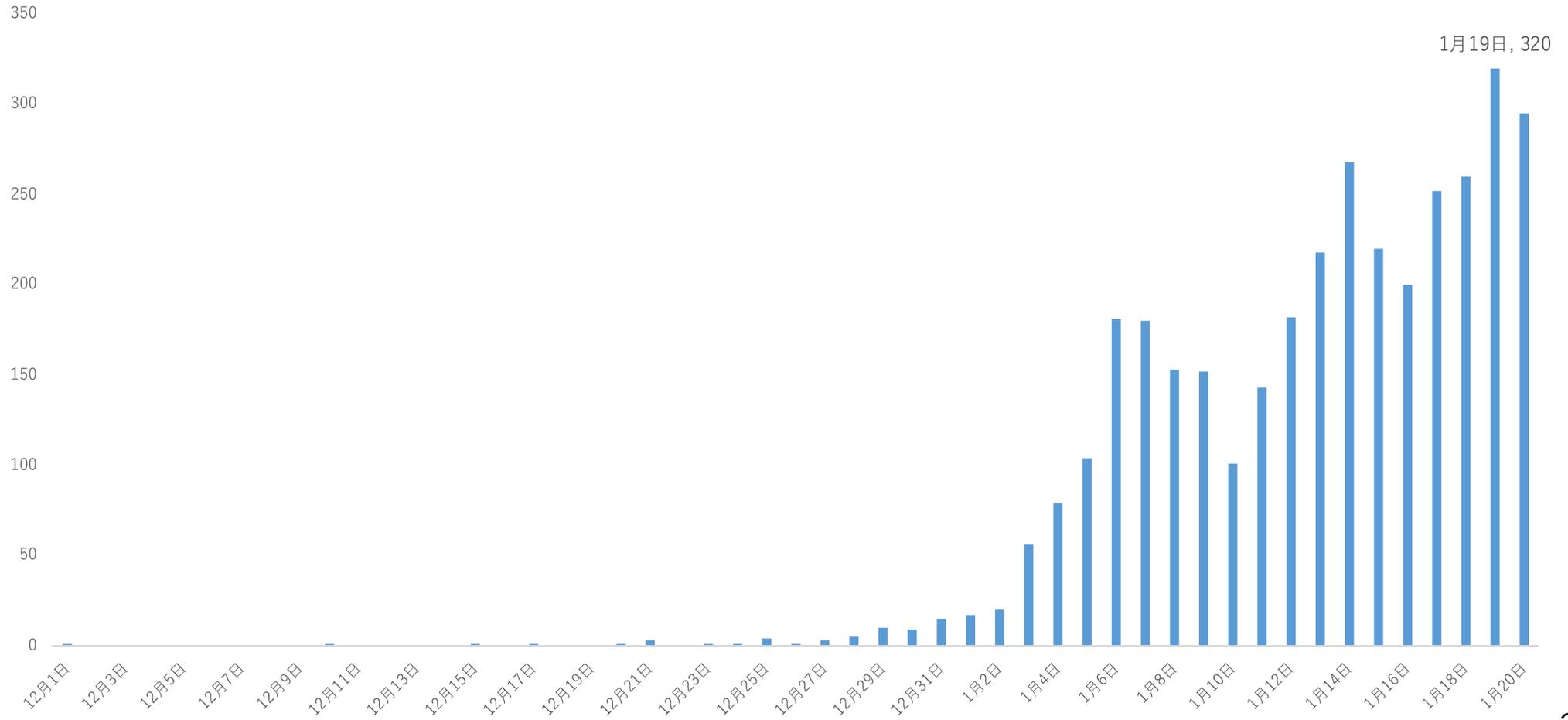
【参考】広島県の新規陽性者数の推移

◆ 年始より急速に感染が拡大。20日に過去最多を記録。



【参考】山口県の新規陽性者数の推移

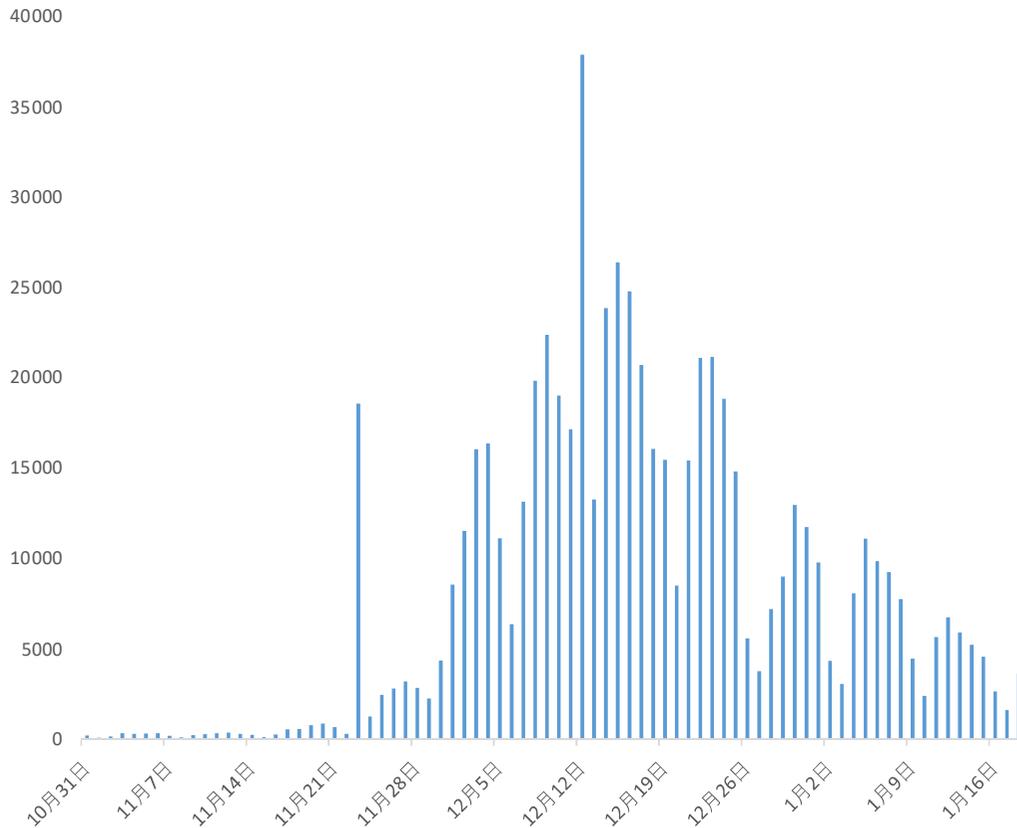
◆ 年始より急速に感染が拡大し、19日に過去最多を記録。20日もほぼ同水準。



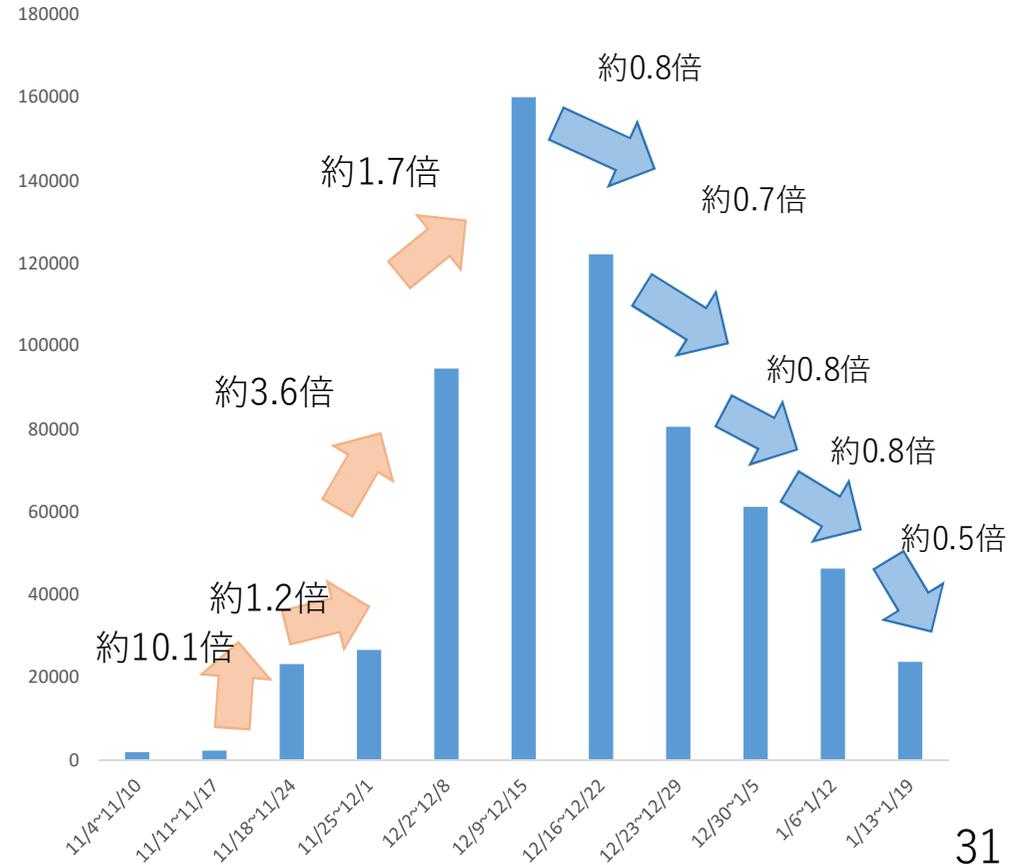
【参考】諸外国の新規感染者数（1月19日時点で分析）

◆ 南アフリカ共和国は最多となった12月12日よりピークアウト。

南アフリカ（日次）



南アフリカ（週次）

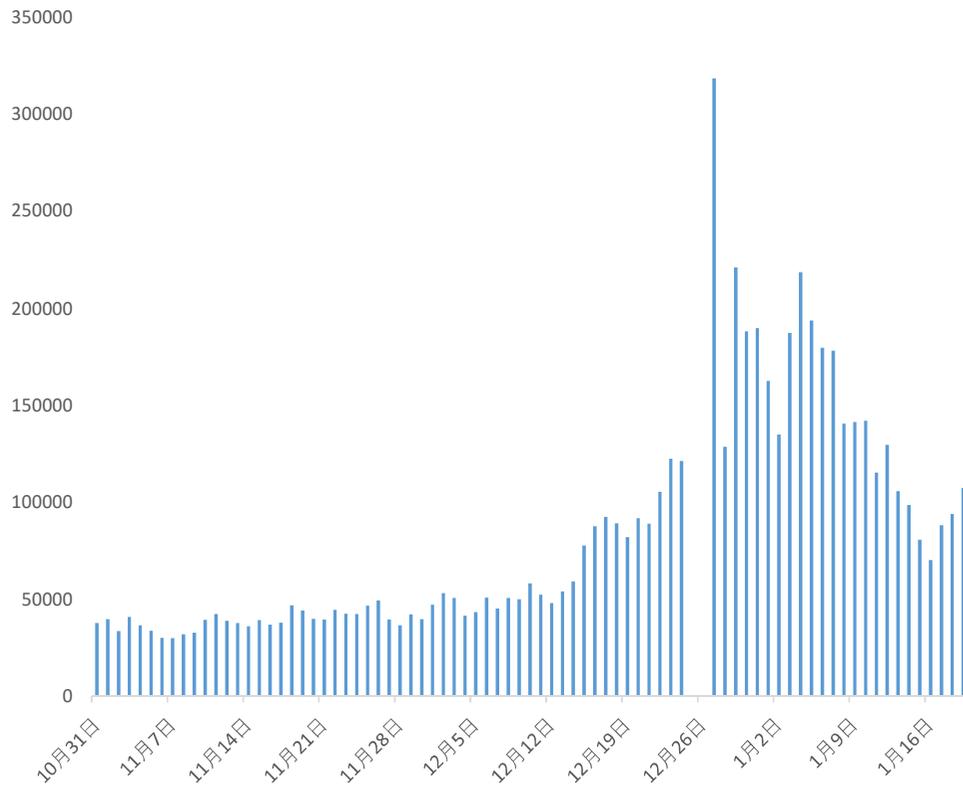


出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」（<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>）

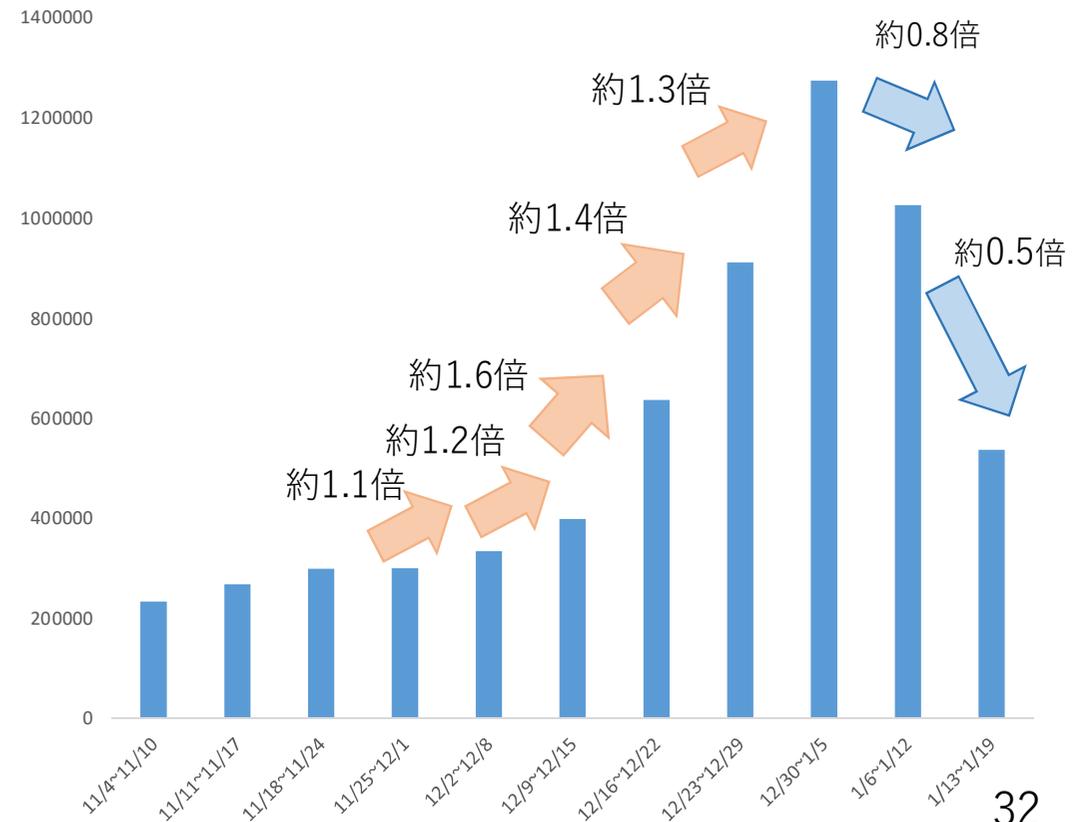
【参考】諸外国の新規感染者数（1月19日時点で分析）

◆ イギリスの新規陽性者数は最多となった12月27日以降、ピークアウト。

イギリス（日次）



イギリス（週次）

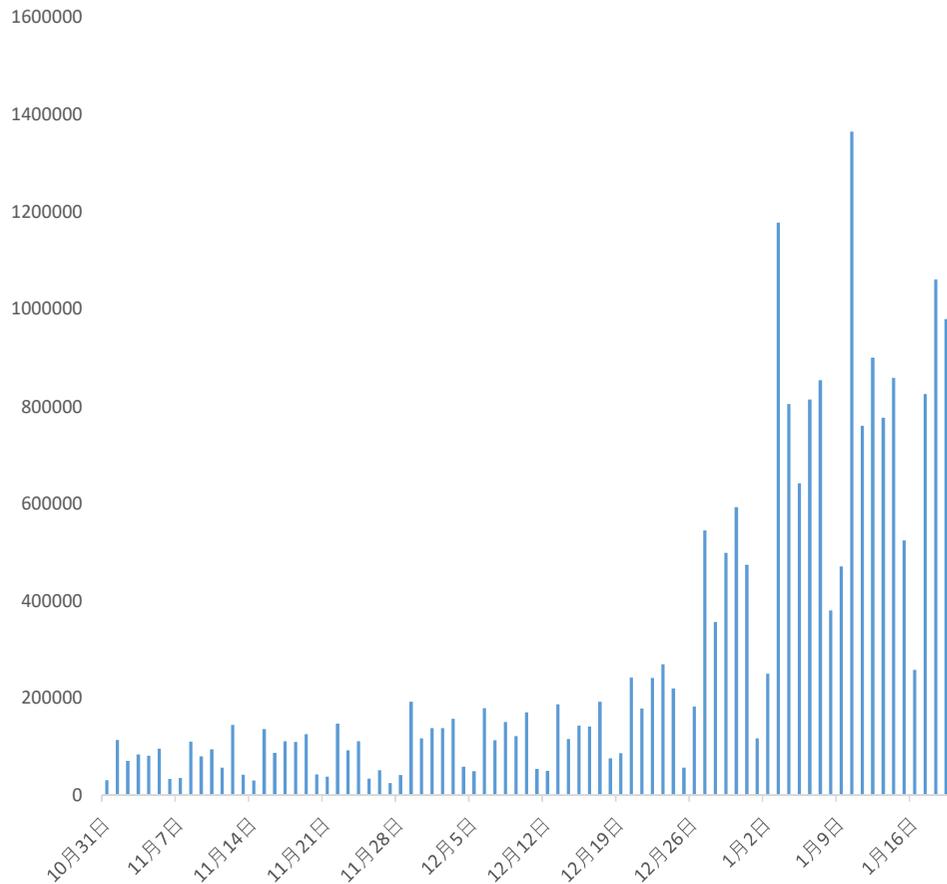


出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>)

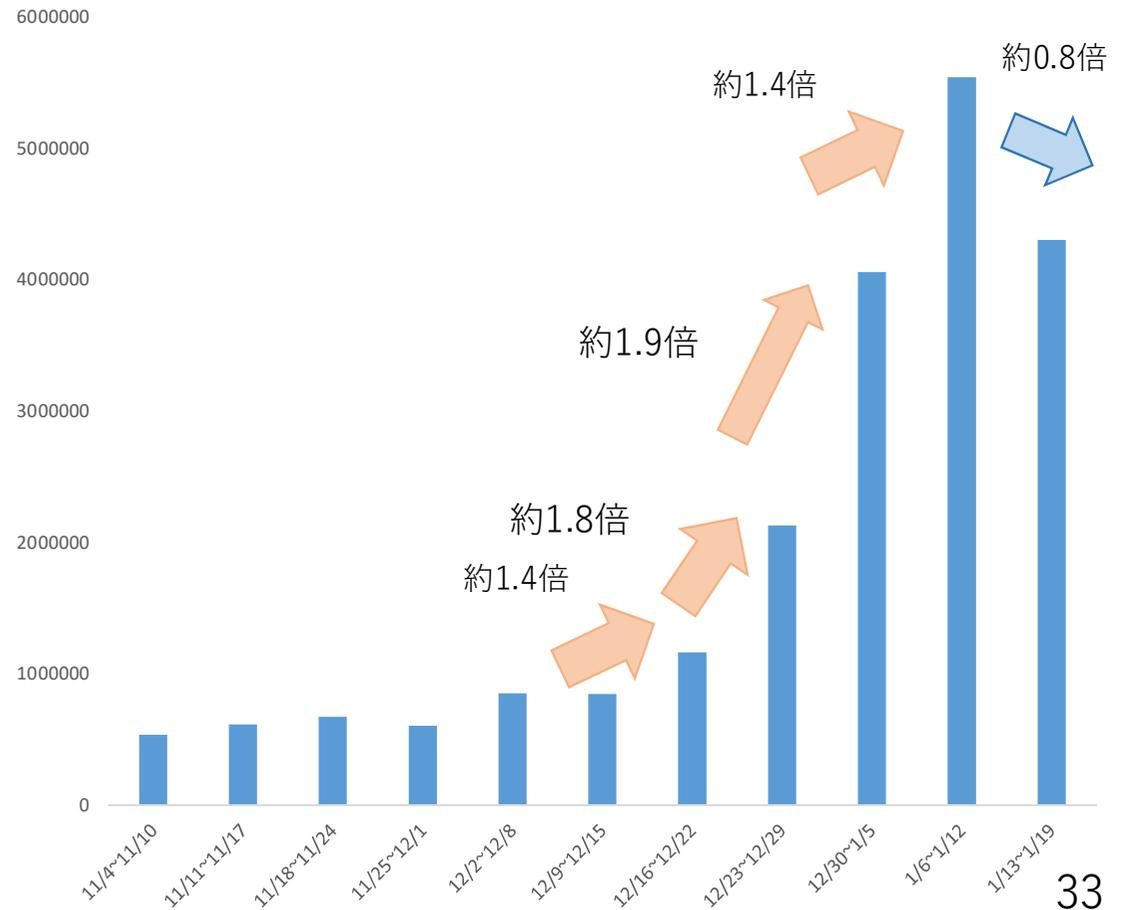
【参考】諸外国の新規感染者数（1月19日時点で分析）

◆ アメリカは1月10日に過去最多を記録した後、減少傾向。

アメリカ（日次）



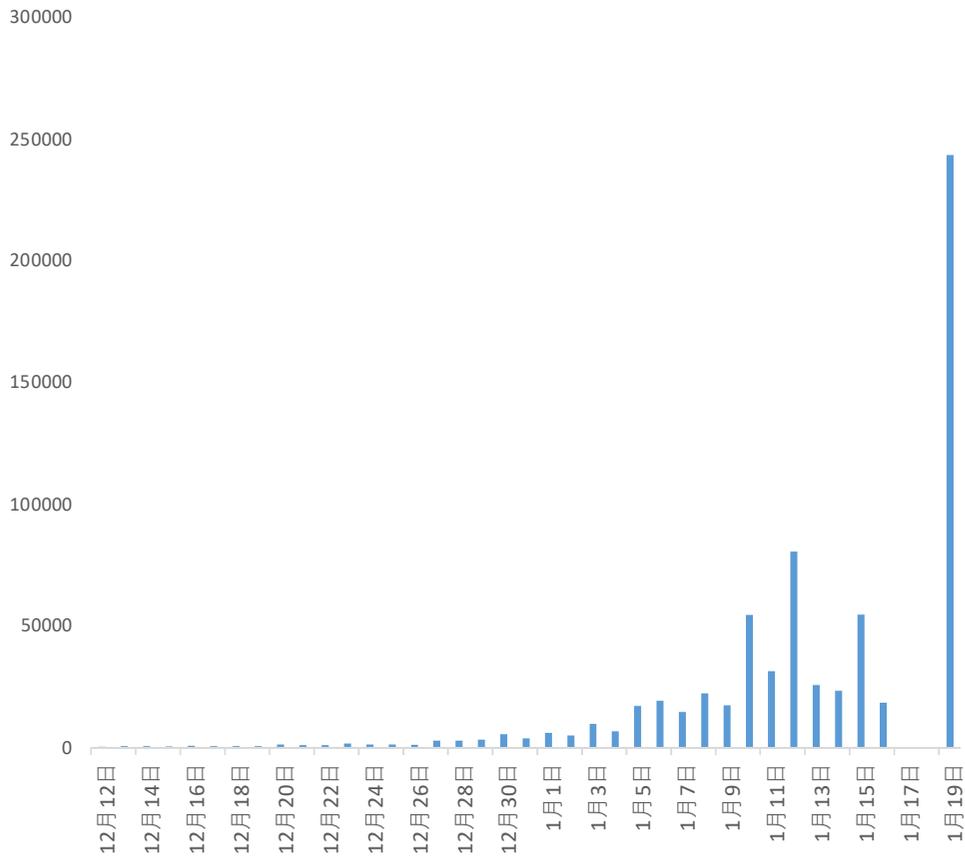
アメリカ（週次）



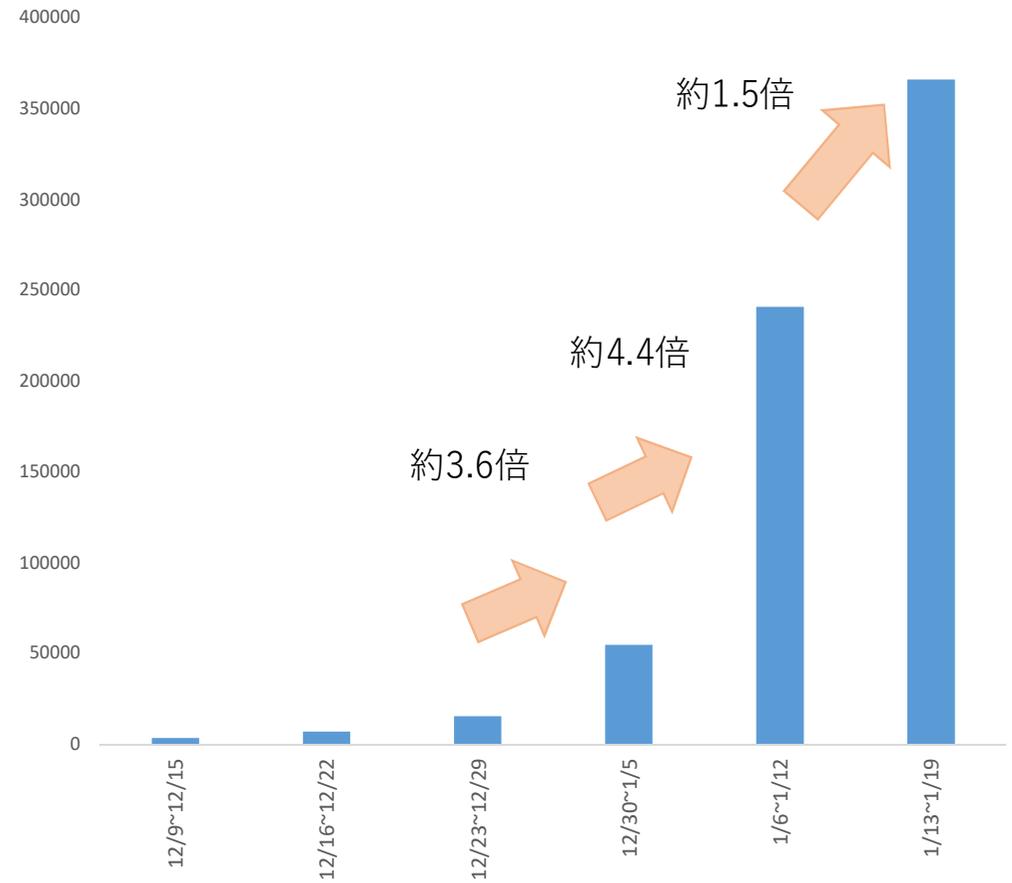
出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>)

【参考】諸外国の新規感染者数（1月19日時点で分析）

イスラエル（日次）



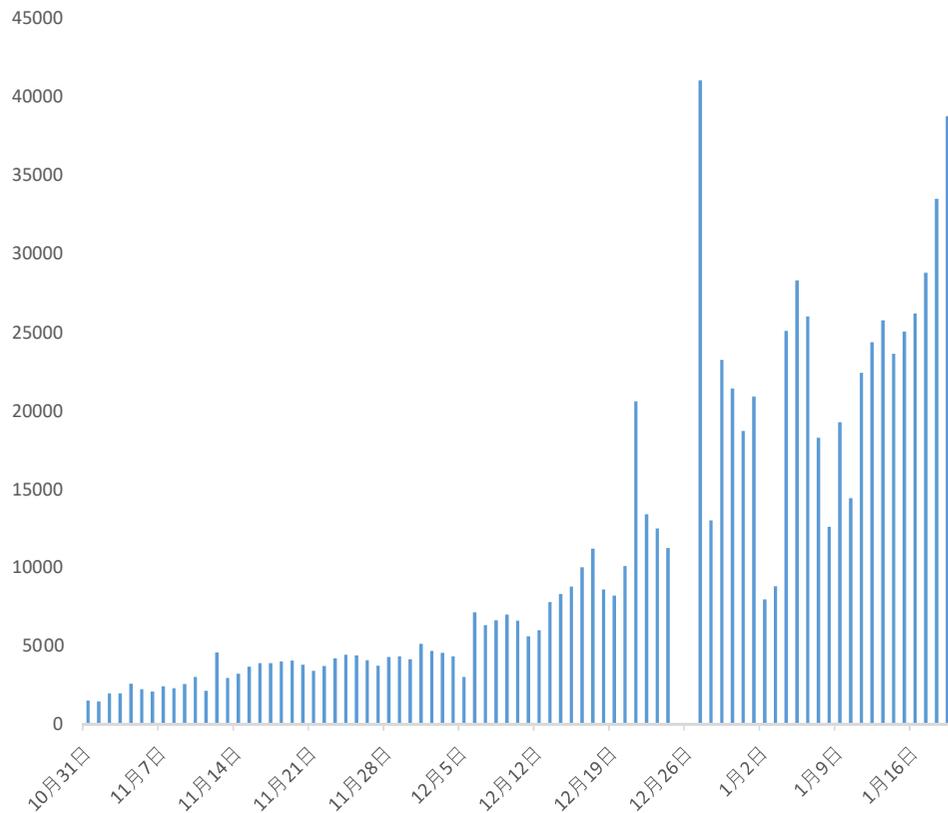
イスラエル（週次）



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data/>)

【参考】諸外国の新規感染者数（1月19日時点で分析）

デンマーク（日次）



デンマーク（週次）

